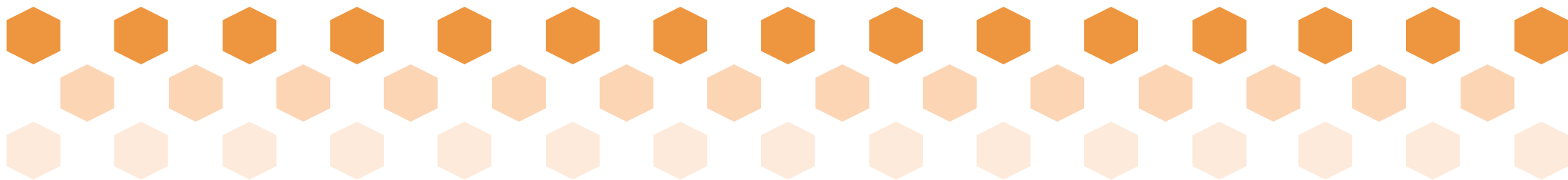


平成29年農林水産物・食品の輸出実績 (品目別)



平 成 3 0 年 4 月

農 林 水 産 省

食料産業局輸出促進課

品目別内訳	2		
加工食品の内訳	3	野菜・果実等の内訳	22
アルコール飲料	4	りんご	23
日本酒(清酒)	5	ぶどう	24
ビール	6	ながいも	25
ソース混合調味料	7	いちご	26
醤油	8	もも	27
みそ	9	なし	28
清涼飲料水	10	かんしょ	29
菓子(米菓を除く)	11	うんしゅうみかん等	30
米菓	12	かき	31
畜産品の内訳	13	その他農産物の内訳	32
牛肉	14	緑茶	33
粉乳(育児用調製品ほか)	15	植木等	34
鶏肉	16	切花	35
鶏卵	17		
豚肉	18	林産物の内訳	36
牛乳	19	丸太	37
		合板	38
穀物等の内訳	20	製材	39
米(援助用除く)	21		
		水産物(水産調製品以外)の内訳	40
		ホタテ貝(生鮮・冷蔵・冷凍・塩蔵・乾燥)	41
		真珠	42
		さば	43
		ぶり	44
		かつお・まぐろ類	45
		さけ・ます	46
		いわし	47
		錦鯉等観賞用魚	48
		たい	49
		すけとうたら	50
		水産調製品の内訳	51
		なまこ(調製)	52
		練り製品(魚肉ソーセージ等)	53
		ホタテ貝(調製品)	54

【利用上の注意】

- 本資料は、農林水産物・食品の輸出に取り組む者や、これから取り組もうと考えている者の参考としていただくため、財務省が公表している「貿易統計」から、我が国の農林水産物・食品の輸出実績のうち、主な品目について取りまとめたものです。
- 本資料の作成に当たっては、誤りのないよう、細心の注意を払っておりますが、万が一、誤りがあった場合でも、農林水産省は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

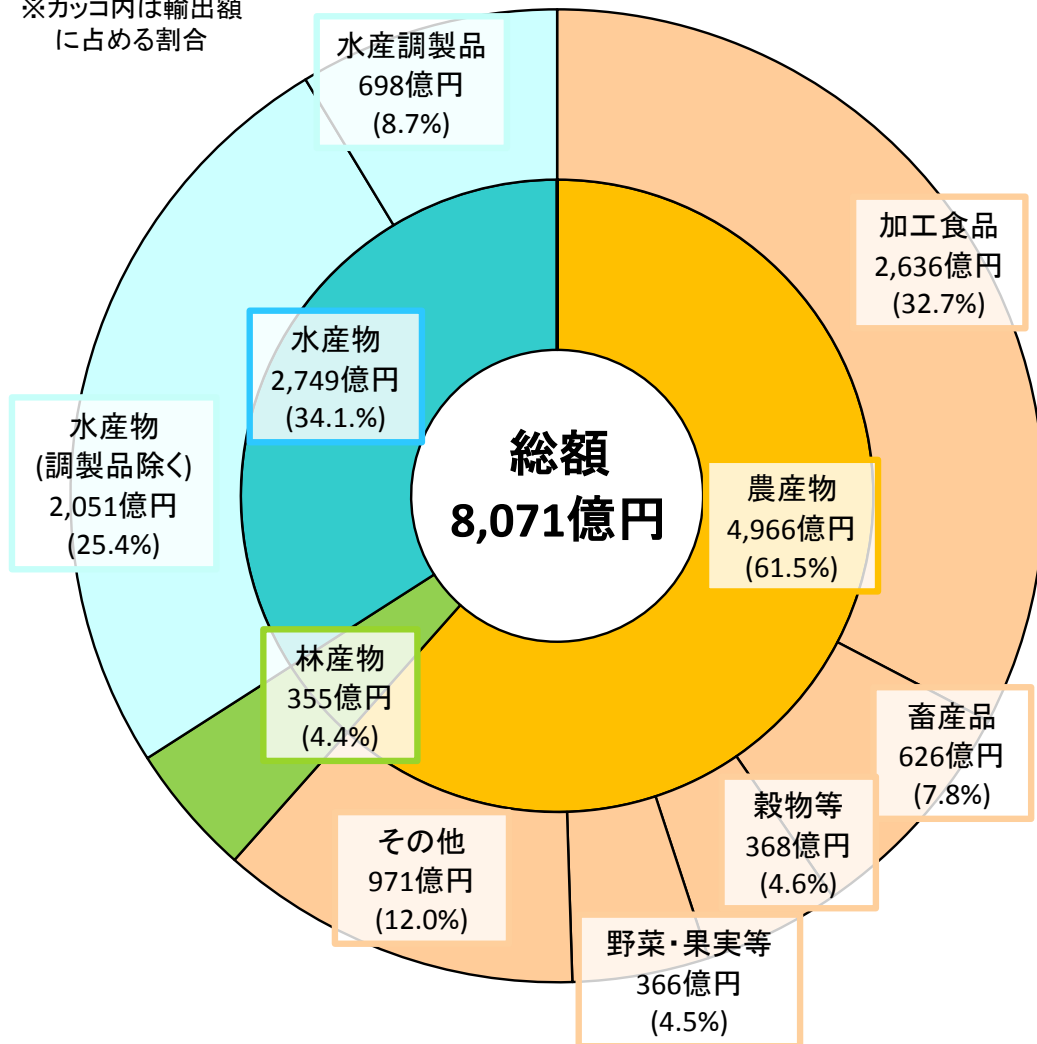
平成29年農林水産物・食品の輸出額の品目別内訳

MAFF

●農林水産物・食品の輸出額を品目別で見ると、水産物が34%、加工食品が33%を占める。

(平成29年)

※カッコ内は輸出額
に占める割合



(単位: 億円)

品 目	平成28年 2016年	平成29年 2017年	増減率
農林水産物	7,502	8,071	7.6%
農産物	4,593	4,966	8.1%
加工食品 (アルコール飲料、調味料、清涼飲料水、菓子等)	2,355	2,636	11.9%
畜産品 (食肉、酪農品、鶏卵、牛・豚等の皮等)	510	626	22.6%
穀物等 (小麦粉、米等)	378	368	▲2.8%
野菜・果実等 (青果物、果汁、野菜・果実の缶詰等)	377	366	▲2.9%
その他農産物 (たばこ、播種用の種、花き、茶等)	973	971	▲0.1%
林産物 (丸太、製材、合板等)	268	355	32.3%
水産物	2,640	2,749	4.1%
水産物 (調製品除く) (生鮮魚介類、真珠(天然・養殖)等)	1,954	2,051	4.9%
水産調製品 (水産缶詰、練り製品(魚肉ソーセージ等)等)	686	698	1.8%

資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

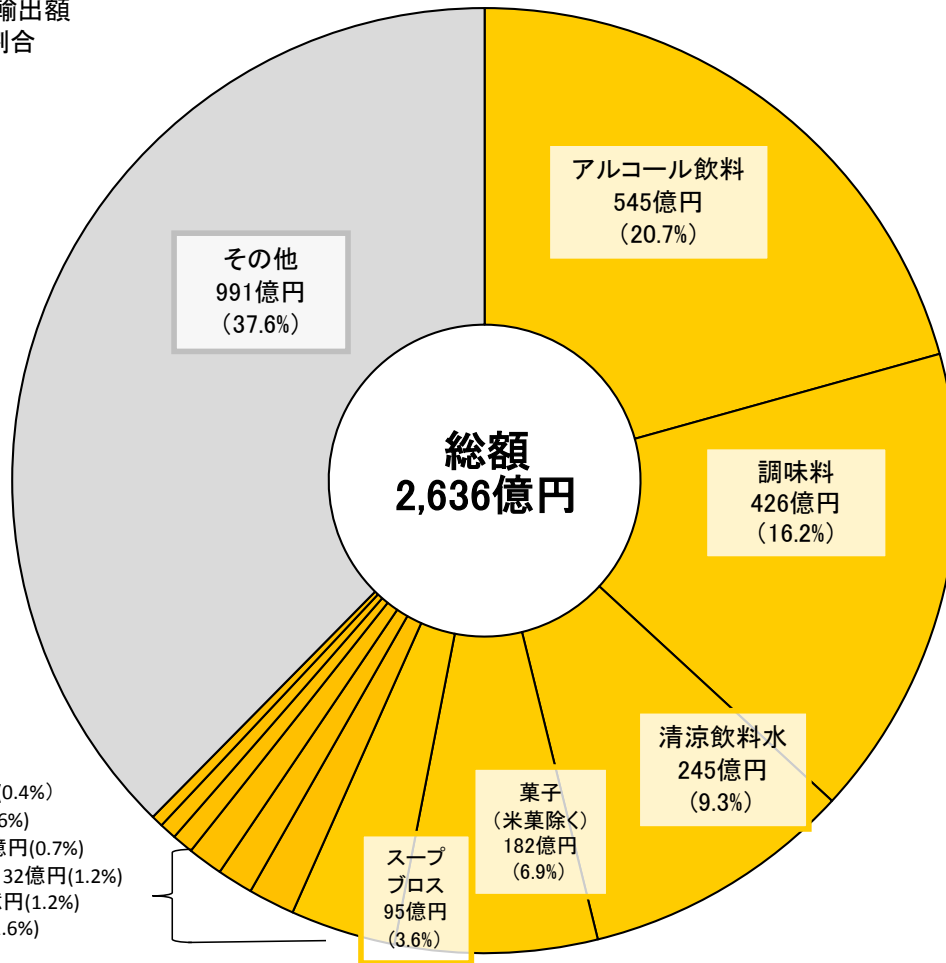
加工食品の内訳

MAFF

●加工食品の品目別内訳をみると、アルコール飲料、調味料、清涼飲料水、菓子などの割合が多い。

(平成28年)

※カッコ内は輸出額
に占める割合



(単位: 億円)

品目名	平成28年	平成29年	増減率
アルコール飲料	430.0	545.0	26.8%
清酒	155.8	186.8	19.9%
ウイスキー	108.4	136.4	25.8%
ビール	94.9	128.7	35.7%
焼酎	14.7	15.4	4.8%
ぶどう酒	1.6	4.9	200.5%
調味料	395.7	426.3	7.7%
ソース混合調味料	273.7	295.9	8.1%
醤油	66.1	71.5	8.3%
みそ	30.6	33.3	8.9%
清涼飲料水	194.3	245.0	26.1%
菓子 (米菓除く)	181.6	182.2	0.3%
チョコレート菓子	91.9	87.9	▲4.4%
キャンデー類	64.6	68.2	5.7%
ビスケット	16.0	10.8	▲32.5%
チューインガム	9.1	7.9	▲13.2%
スープ・ブロス	83.3	95.0	14.0%
米菓	38.1	41.9	9.9%
ペプトン等	32.6	32.2	▲1.1%
デキストリン等	27.7	31.8	14.8%
レシチン等	16.0	19.2	20.5%
酵母	15.9	15.3	▲3.8%
香辛料	10.4	10.7	2.6%
その他	929.9	991.2	6.6%
加工食品 計	2,355.4	2,635.8	11.9%

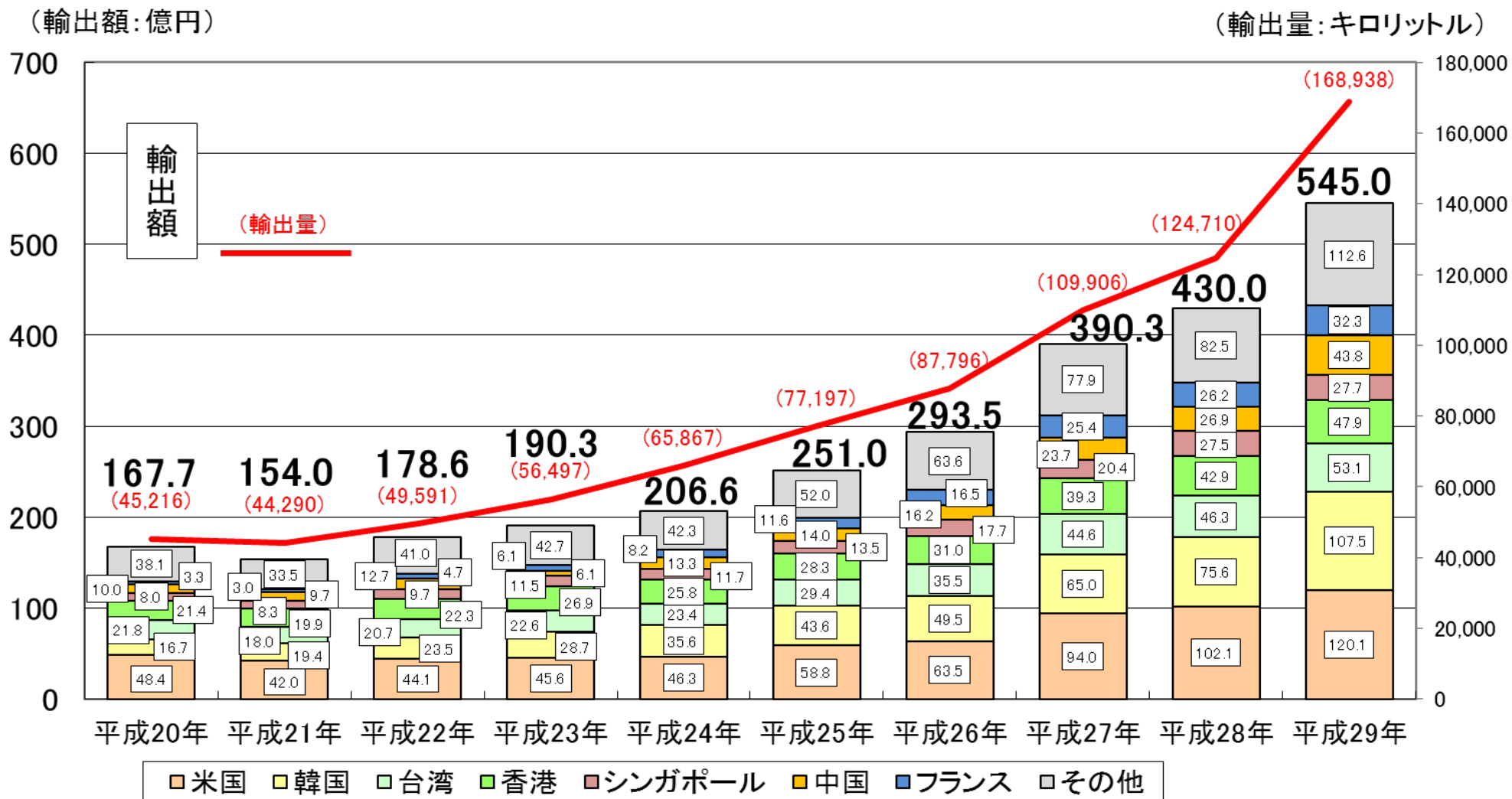
「ソース混合調味料」…ソース、たれ、マヨネーズ、ドレッシング、カレールー等。
 「スープ・ブロス」…スープや出汁の素。
 「ペプトン」…牛乳や大豆のたんぱく質を分解したもので、食品添加物、培地等に使用。
 「デキストリン」…でん粉を分解したもので、食感の改良や増粘安定剤等に使用。
 「レシチン」…卵黄や大豆由来の脂質で、食品添加物、健康食品の原料等に使用。
 「酵母」…ビール酵母等で、健康食品や飼料の原料に使用。

資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

アルコール飲料の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- アルコール飲料の輸出額は、増加傾向。
- 内訳をみると、日本酒(清酒)(187億円)が最も多く、次いでウイスキー(136億円)、ビール(129億円)。



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

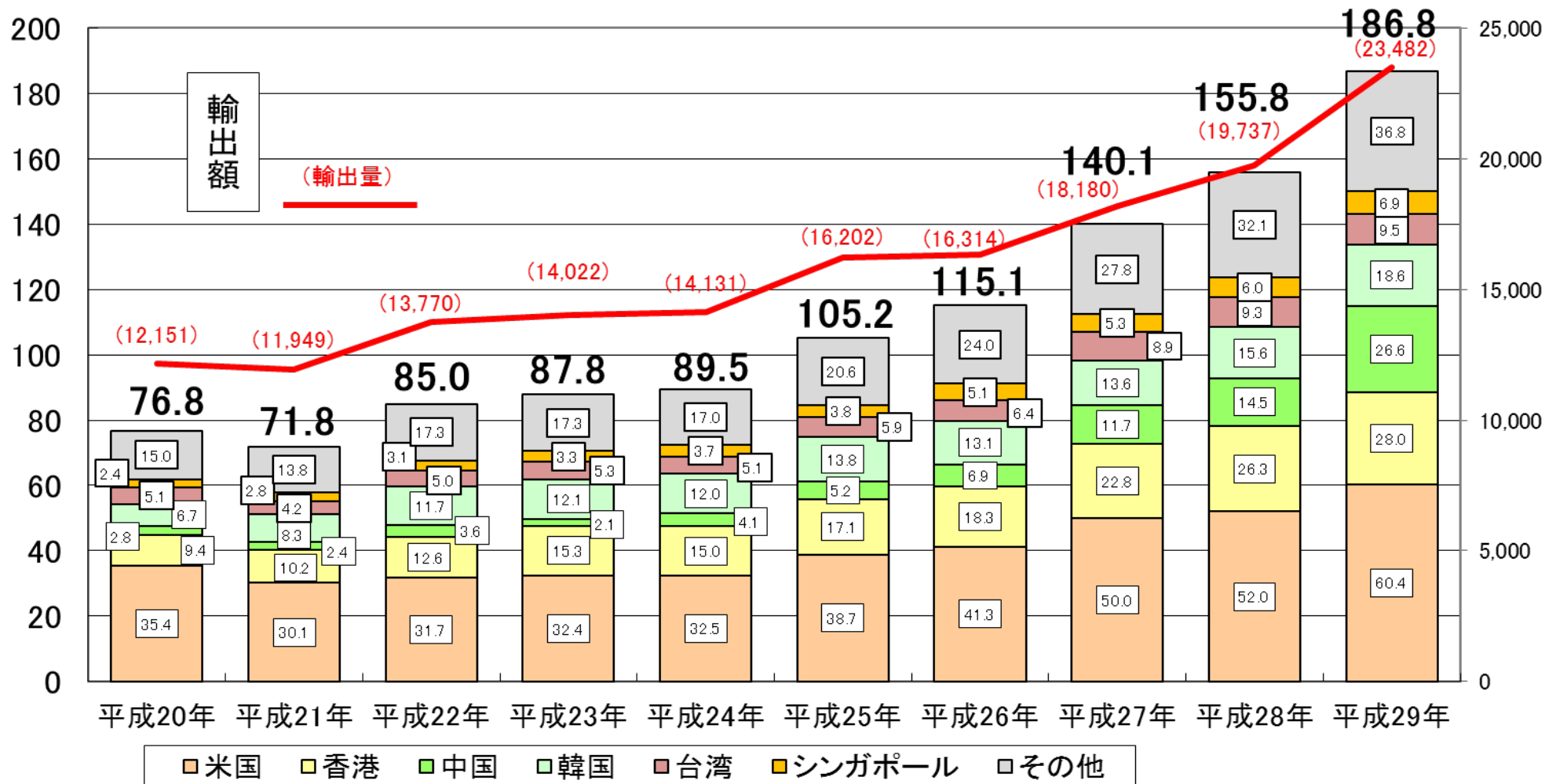
日本酒(清酒)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 日本酒(清酒)の輸出額は、日本食ブームを背景に増加傾向。
- 米国、香港、中国、韓国、台湾、シンガポール向けで全体の約8割を占める。

(輸出額: 億円)

(輸出量: キロリットル)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

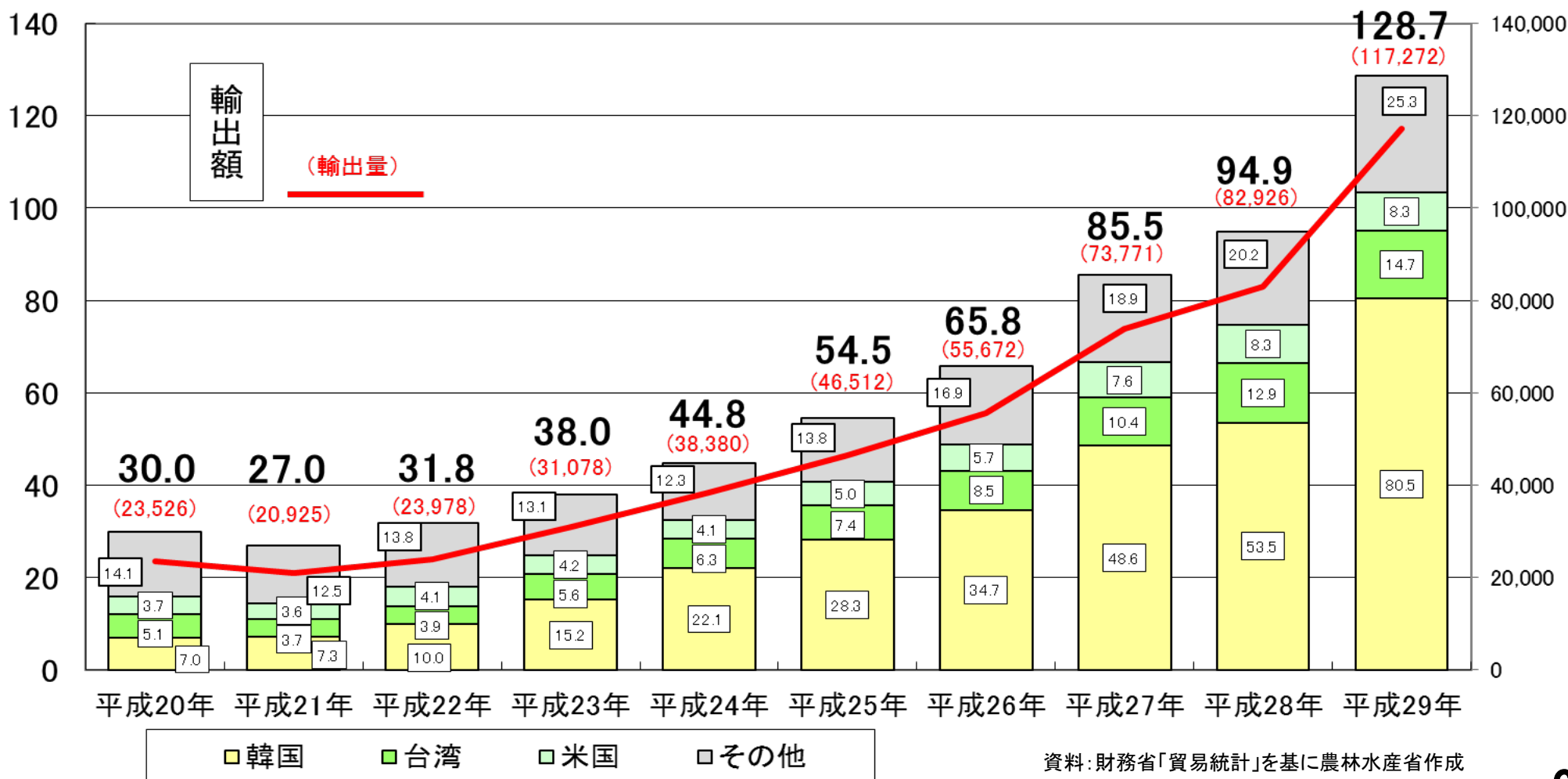
ビールの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- ビールの輸出額は、日本食ブームを背景に増加傾向。
- 韓国、台湾、米国で全体の約8割を占める。

(輸出額: 億円)

(輸出量: キロリットル)



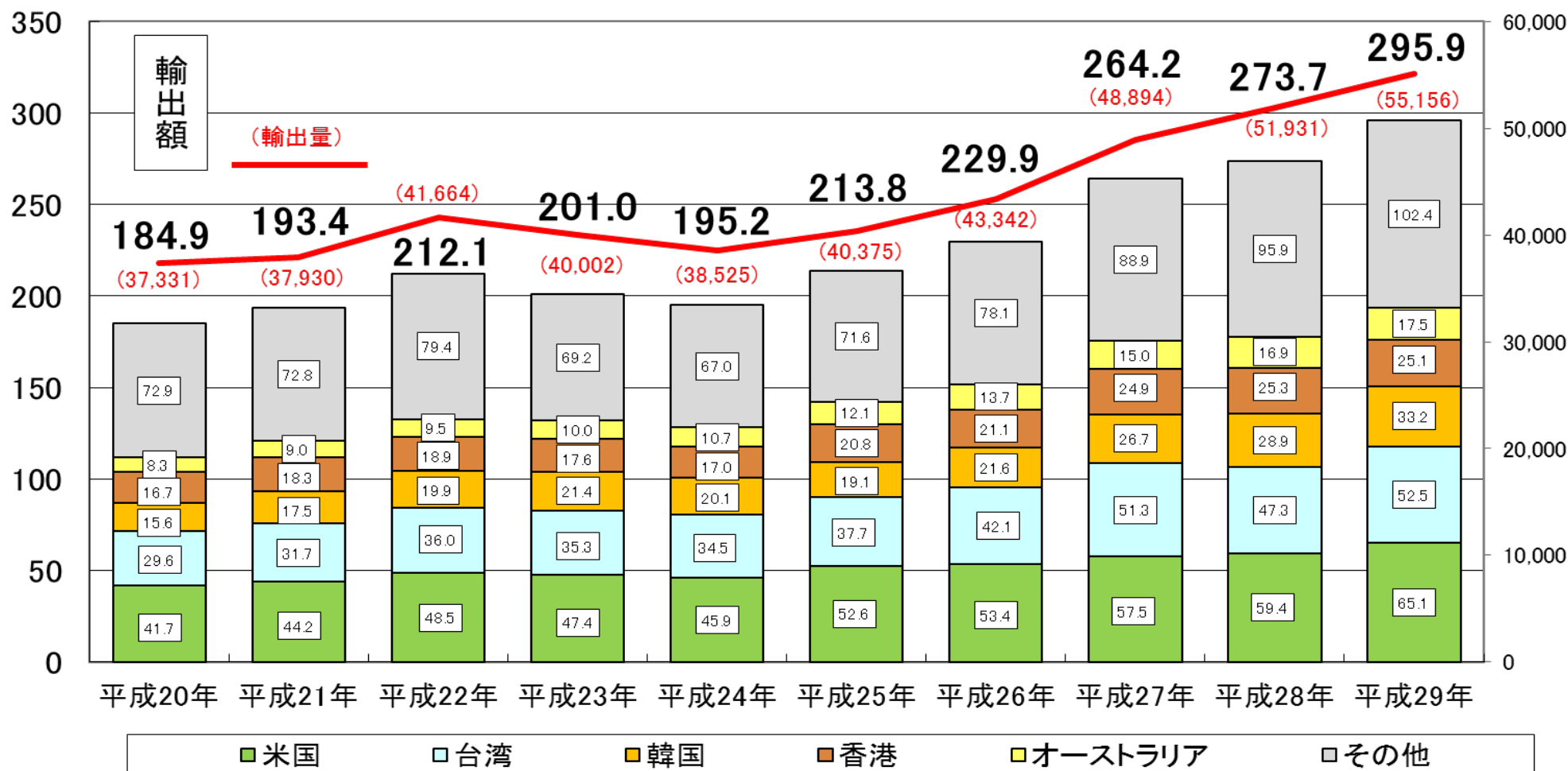
ソース混合調味料の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- ソース、たれ、マヨネーズ、ドレッシング、カレールー等の多種多様な調味料が、多くの国・地域に向けて輸出されている。

(輸出額: 億円)

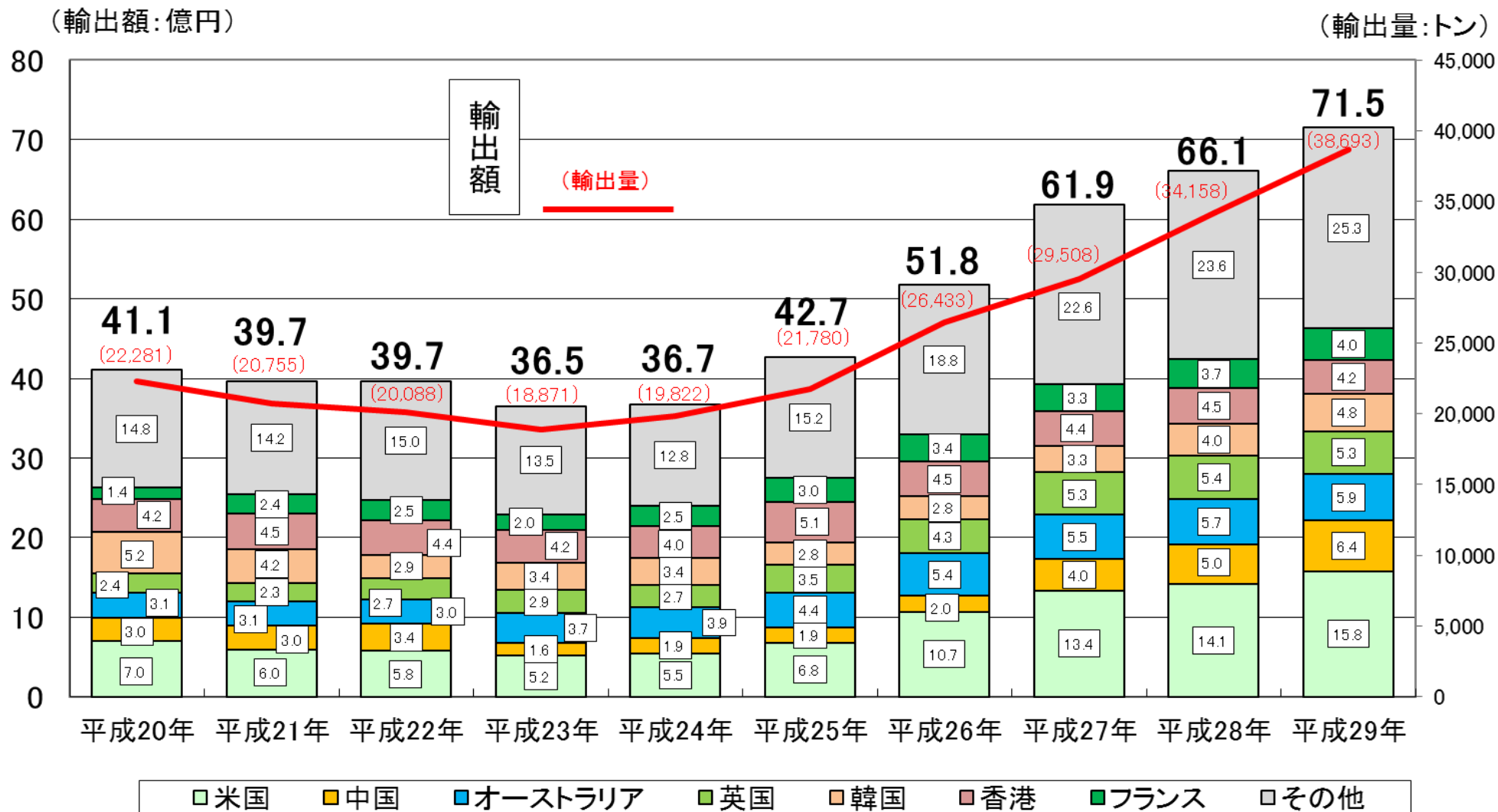
(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

醤油の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

- 日本の調味料の代名詞として、多くの国・地域に向けて輸出されている。

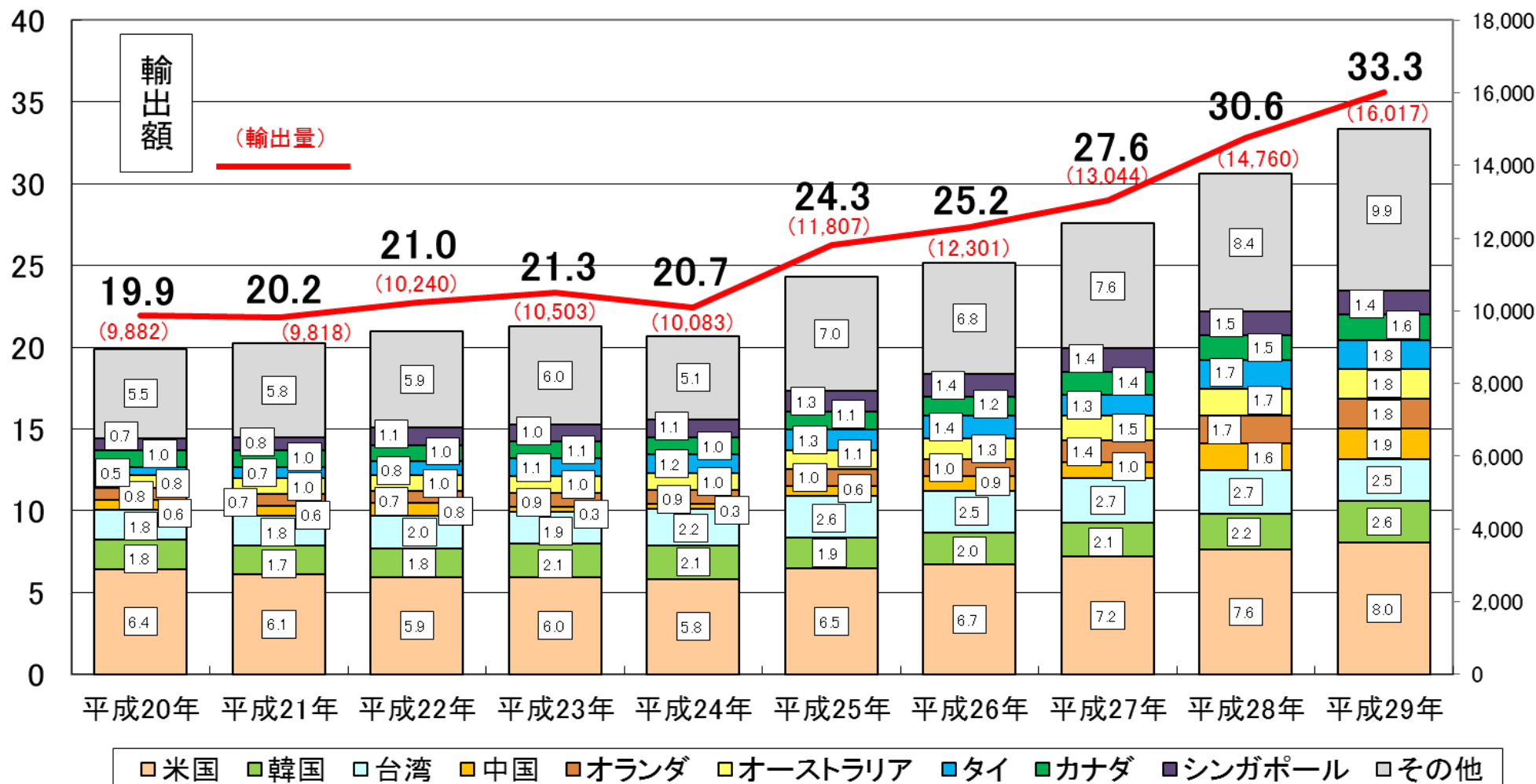


みその輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

- 日本食レストランの普及等に伴い、多くの国・地域に向けて輸出されている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



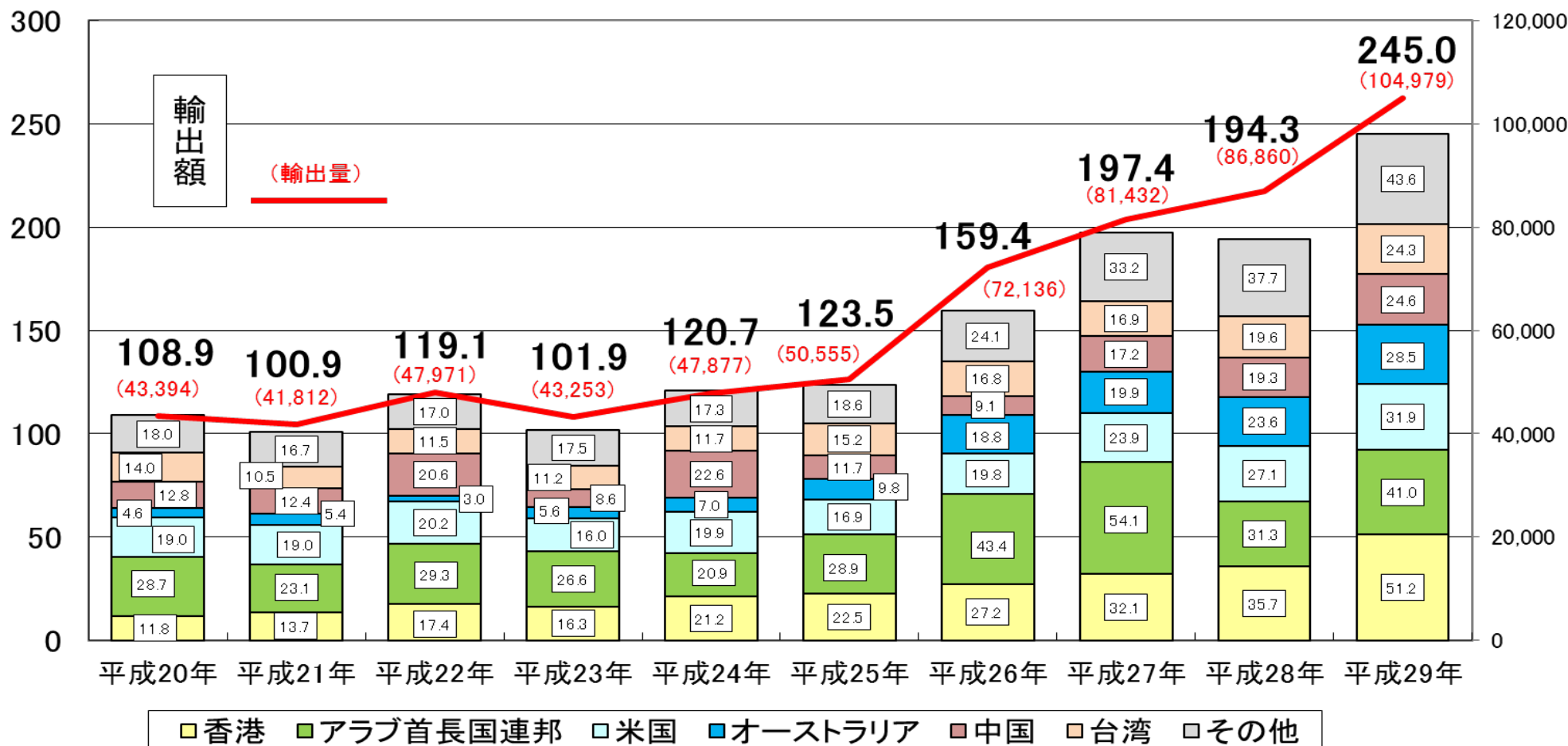
清涼飲料水の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 清涼飲料水の輸出額は、平成28年は最大の輸出先であったアラブ首長国連邦向けの回復により増加。
- 香港、アラブ首長国連邦、米国、オーストラリア、中国、台湾で全体の約8割を占める。

(輸出額: 億円)

(輸出量: キロリットル)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

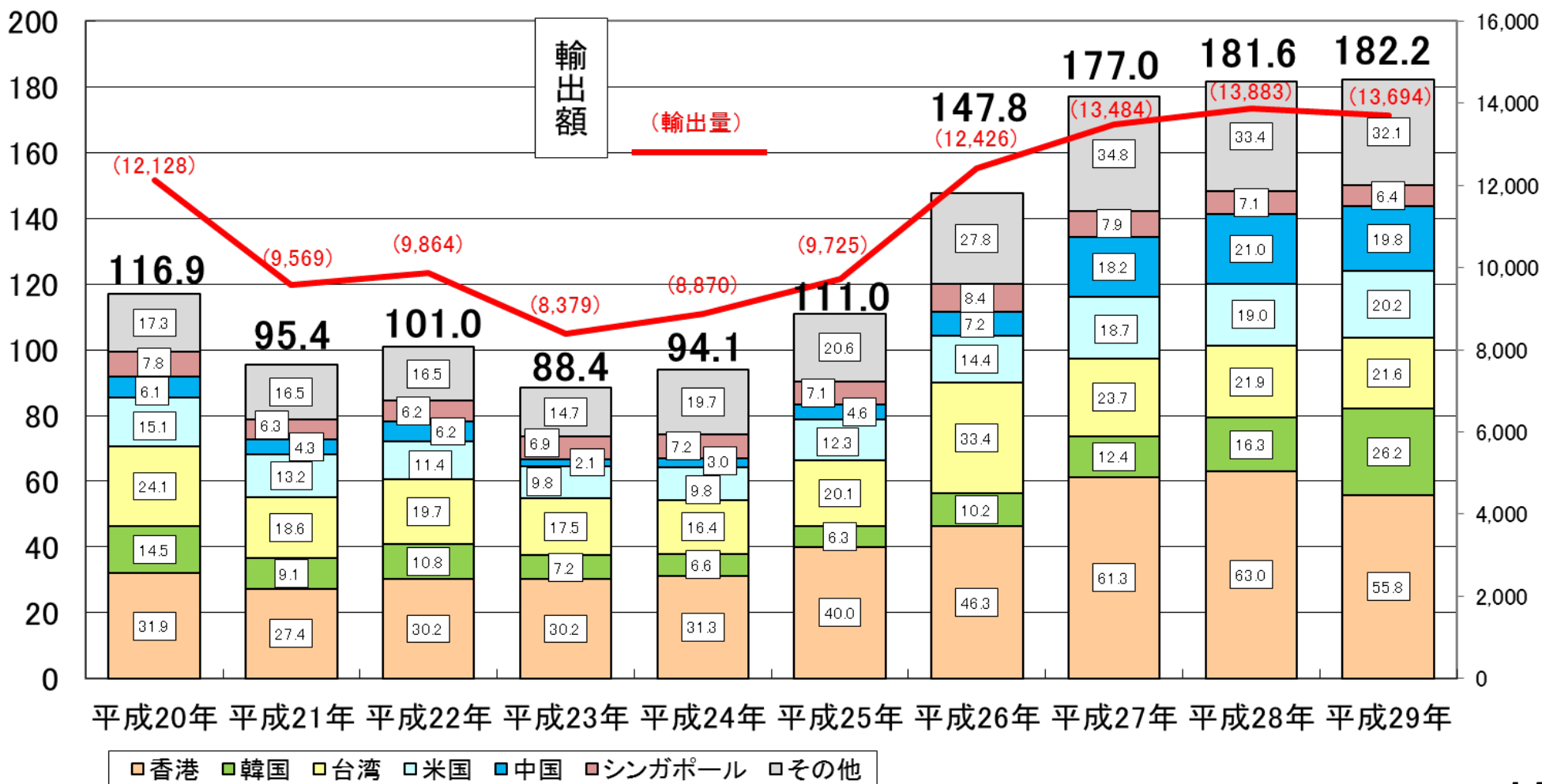
菓子(米菓除く)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 日本産菓子は高品質なものと認識されており、韓国向けには増加したが、香港や中国の需要減少を受け、伸びが鈍化。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

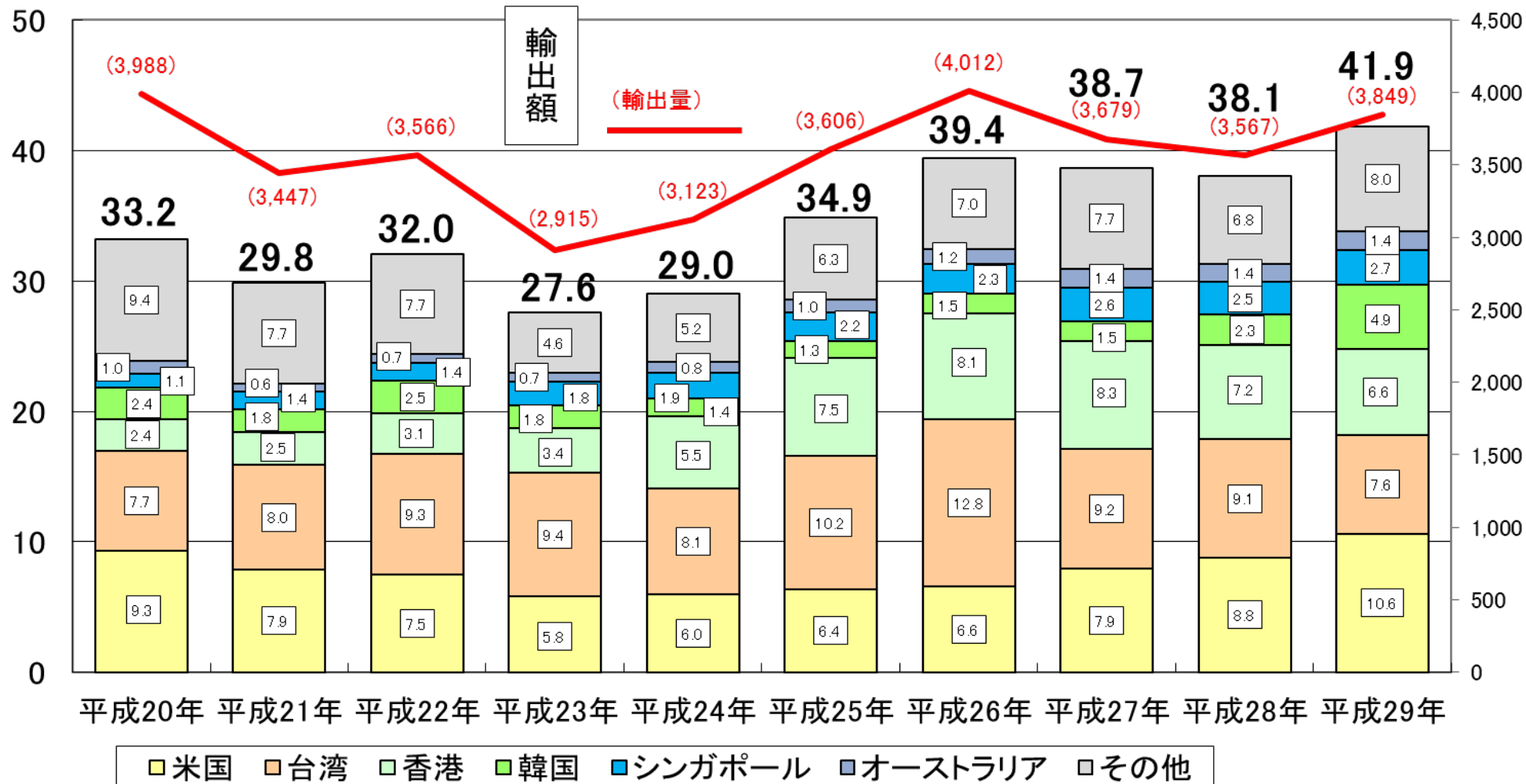
米菓の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 米菓の輸出額は、米国、台湾、香港、韓国、シンガポール、オーストラリア向けで全体の約8割を占める。
- 平成29年は韓国の需要増加を受け、全体的にも増加。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

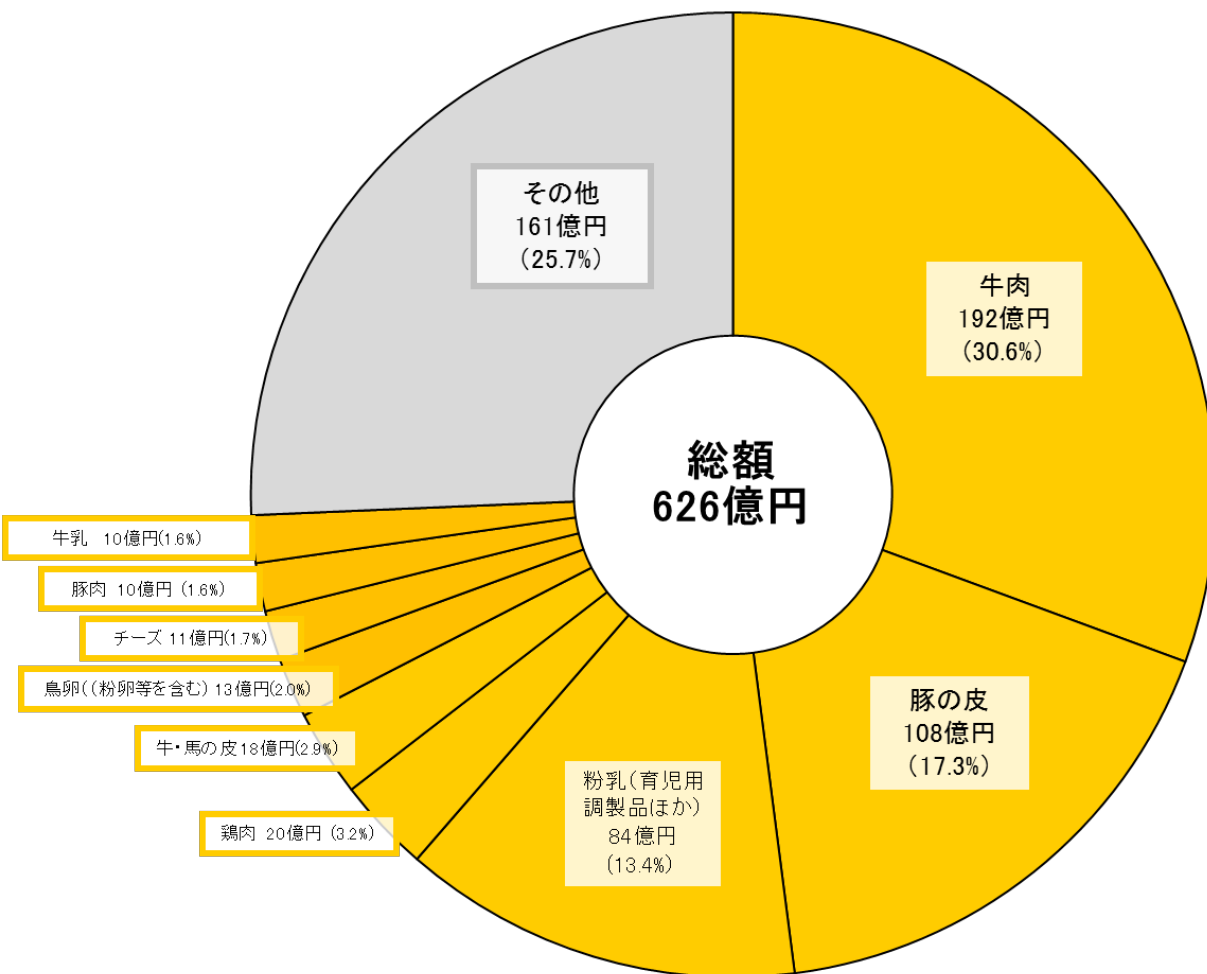
畜産品の内訳

MAFF

●畜産品の品目別内訳をみると、牛肉の輸出が大幅に増加。

(平成29年) ※カッコ内は輸出額
に占める割合

(単位: 億円)



品目名	平成28年	平成29年	増減率
牛肉	135.5	191.6	41.4%
豚の皮	97.4	108.4	11.4%
粉乳(育児用調製品ほか)	77.3	84.0	8.7%
鶏肉	17.2	19.8	14.8%
牛・馬の皮	13.0	18.1	39.4%
鳥卵(粉卵等を含む)	10.2	12.5	22.2%
チーズ	9.6	10.5	9.7%
豚肉	8.5	10.1	18.9%
牛乳	8.6	10.0	15.2%
その他	133.1	160.6	20.7%
畜産品計	510.4	625.5	22.6%

資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

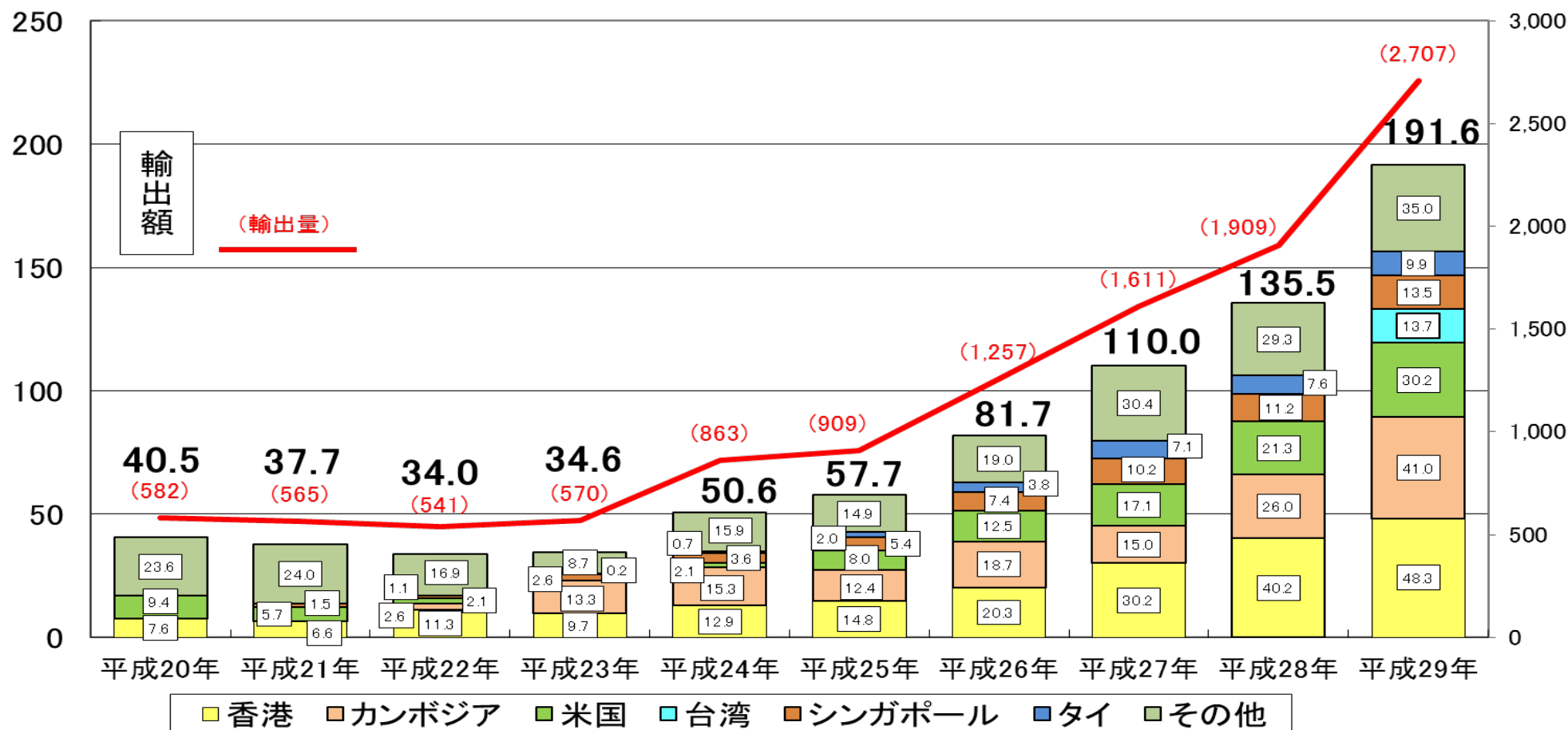
牛肉の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 平成20年から23年の輸出は、口蹄疫発生、原発事故等の影響によって輸出が一時停止したことに加え、円高の影響もあり、横ばいで推移。
- 平成24年の対米輸出再開、平成26年の対EU輸出解禁、平成29年9月には対台湾輸出再開等により輸出可能国が増加するとともに、輸出団体等のプロモーション効果等もあり、近年、輸出は順調に伸びている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

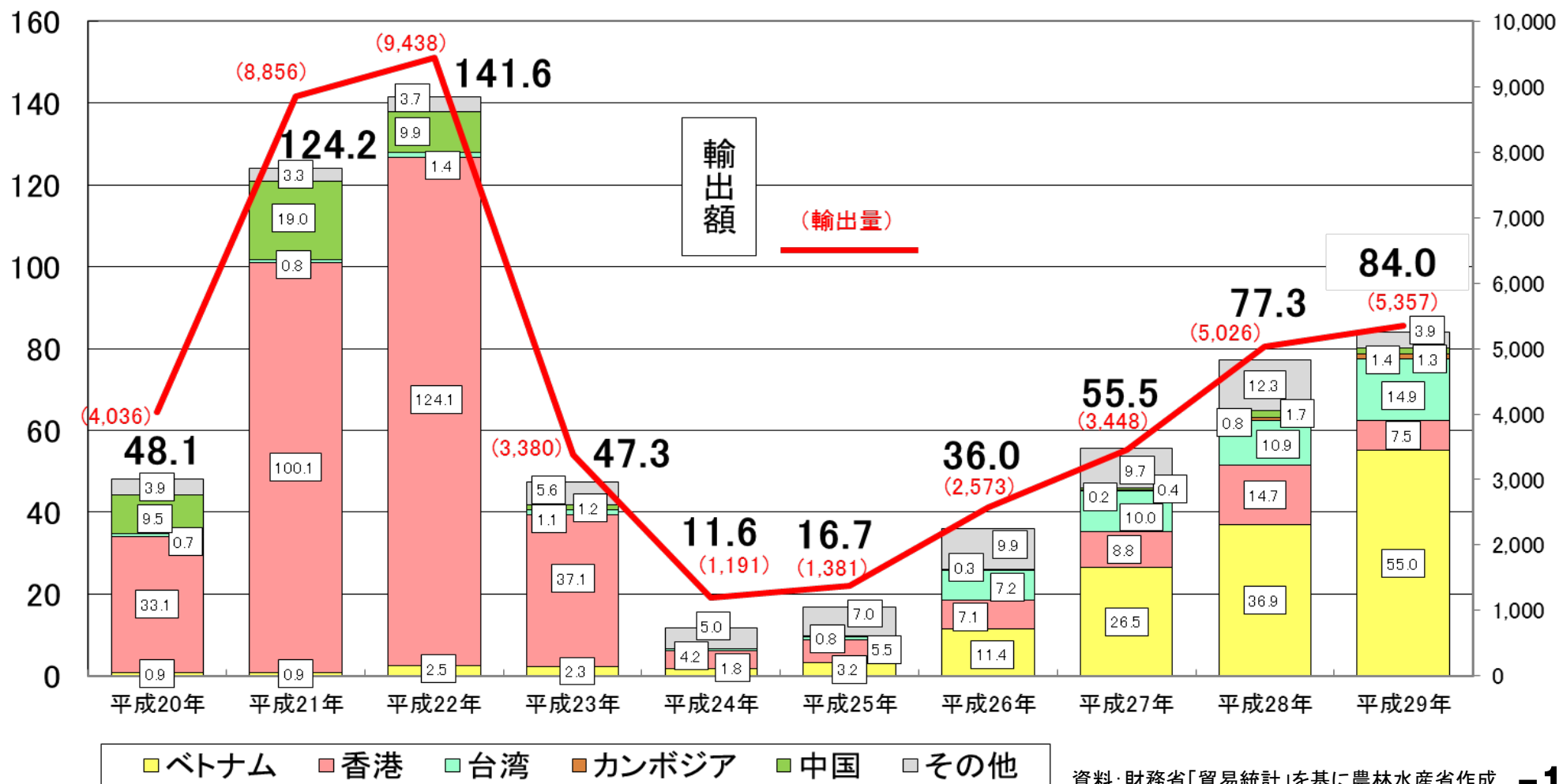
粉乳(育児用調製品ほか)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 中国におけるメラミン混入事案(平成20年)を背景として、香港における日本産粉乳(育児用調製品ほか)に対する需要増により輸出額が増加。その後、東京電力福島第一原発の事故等の影響により輸出額は大きく減少したが、平成25年から回復傾向。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



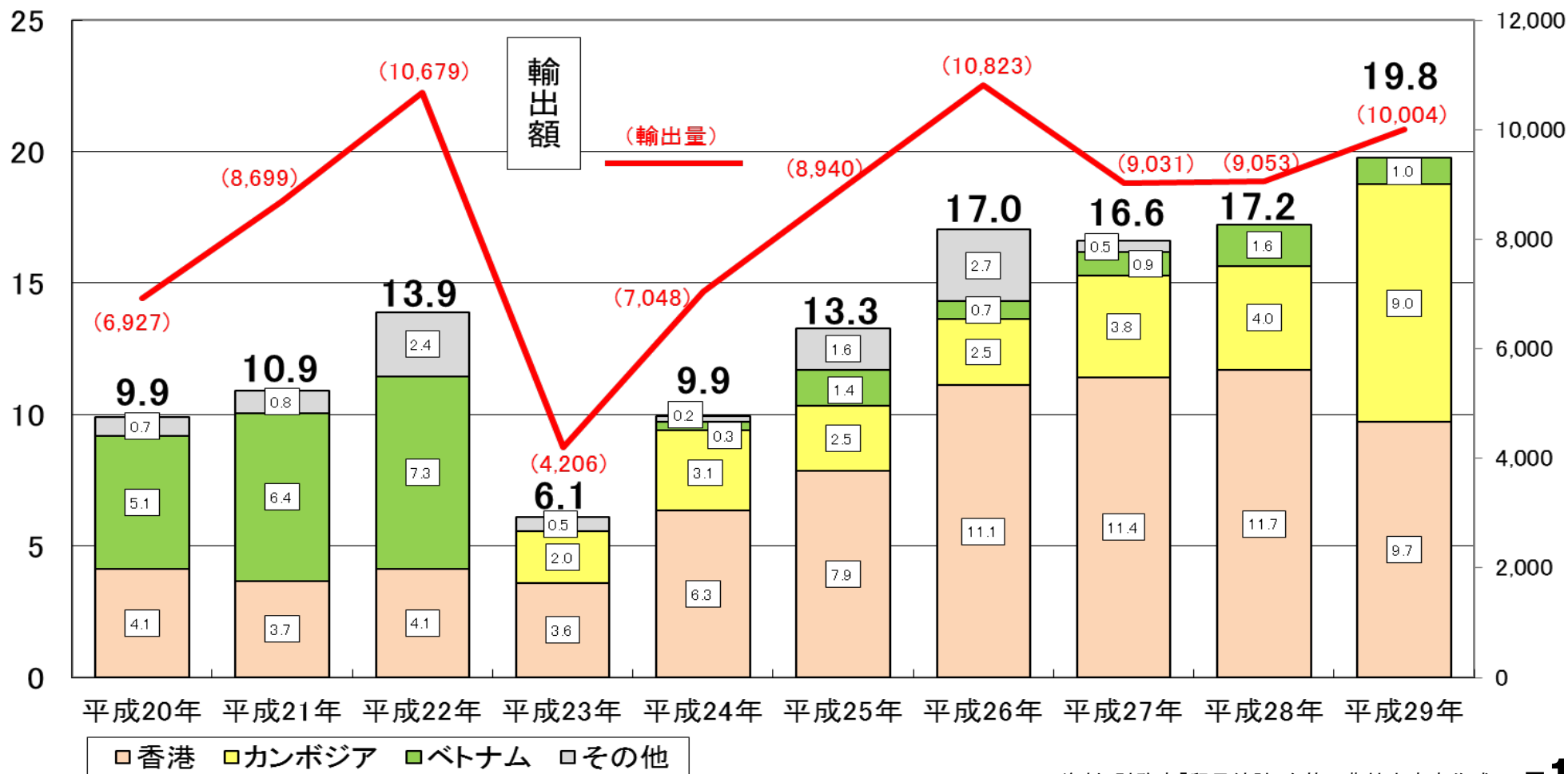
鶏肉の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 鶏肉の輸出は香港向けのシェアが多いが、平成29年はカンボジア向けが大きく増加。
- 東日本大震災の影響を受けて一時減少したが、その後、震災前の水準を超えて伸びている。
- 平成26年末及び平成28年11月に発生した鳥インフルエンザの影響により、一部の輸出先国への輸出が停止していたが、平成29年6月にOIEの規定により清浄国となり、台湾を除く全ての国で輸出再開し増加傾向。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

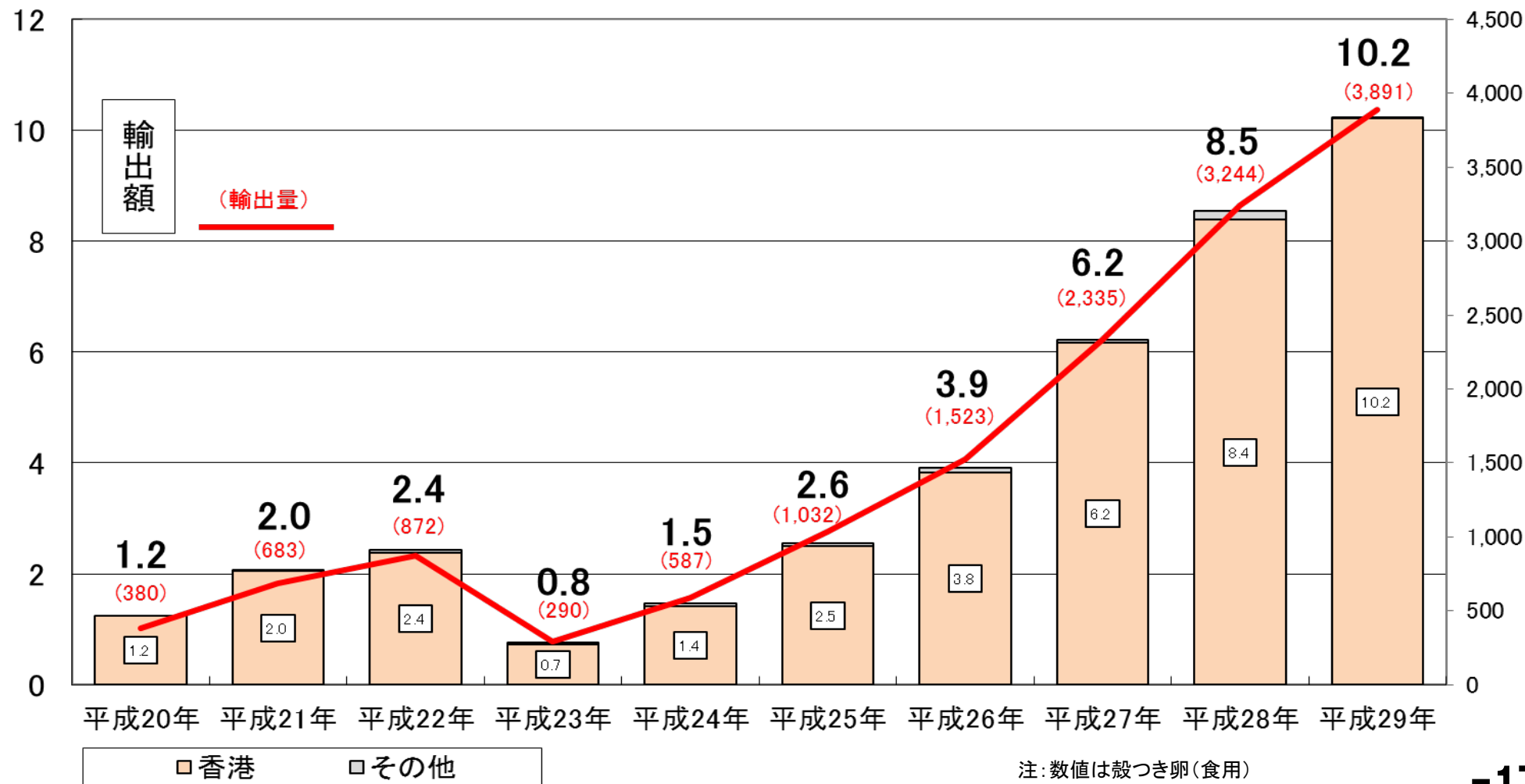
鶏卵の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 鶏卵の輸出は香港向けが大半を占めているところ。
- 東日本大震災の影響を受けて一時減少したが、その後、震災前の水準を大きく超えて伸びている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



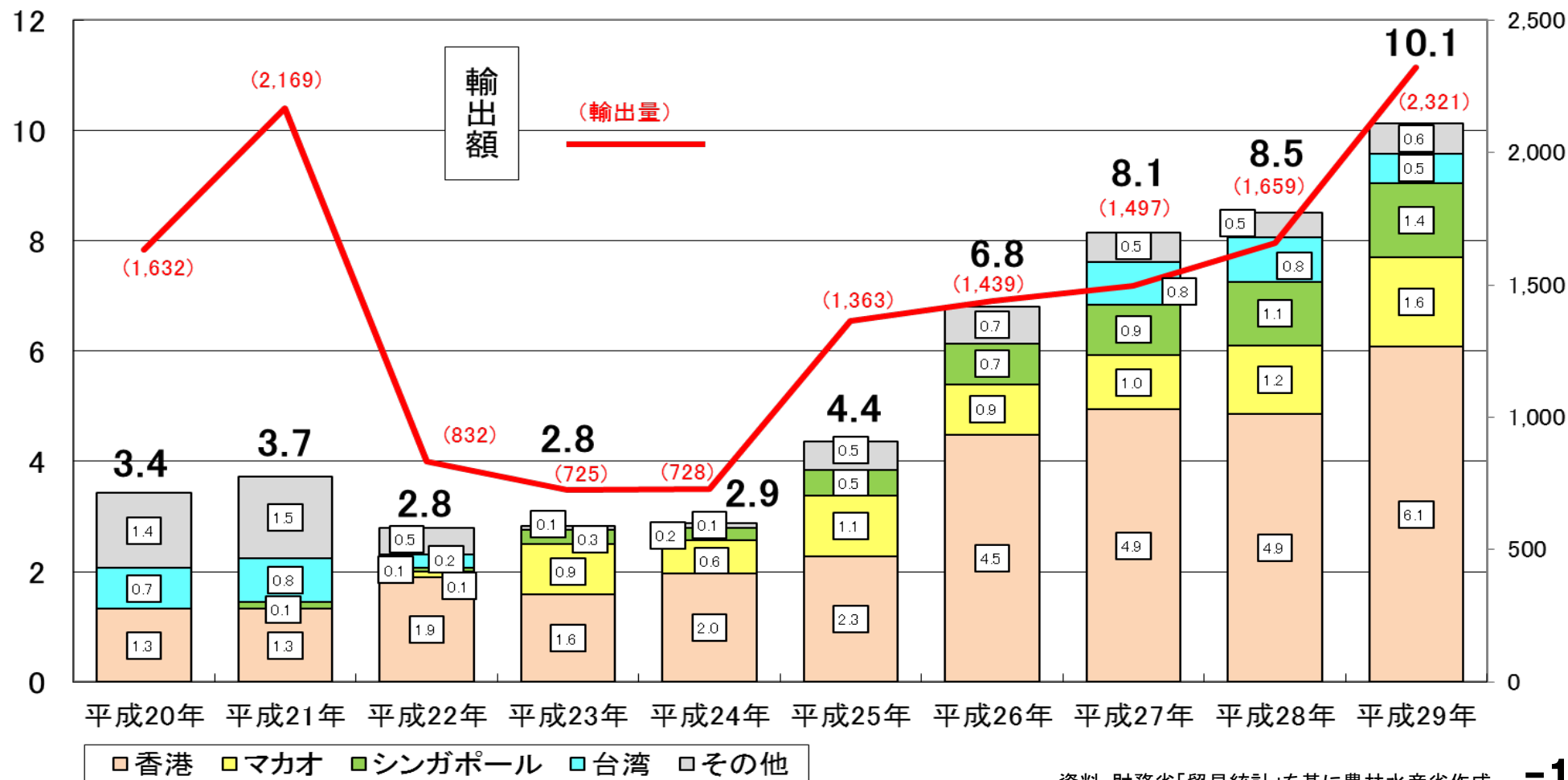
豚肉の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 豚肉の輸出は、香港をはじめ、マカオ、シンガポール、台湾向けが大半を占めているところ。
- 平成22年から24年にかけて、口蹄疫発生、原発事故等の影響により輸出が停滞したが、平成25年には回復。
- 平成26年以降、日本食レストランに対し和牛と合わせて売り込む等により、香港、シンガポール向けの輸出が増加しているところ。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

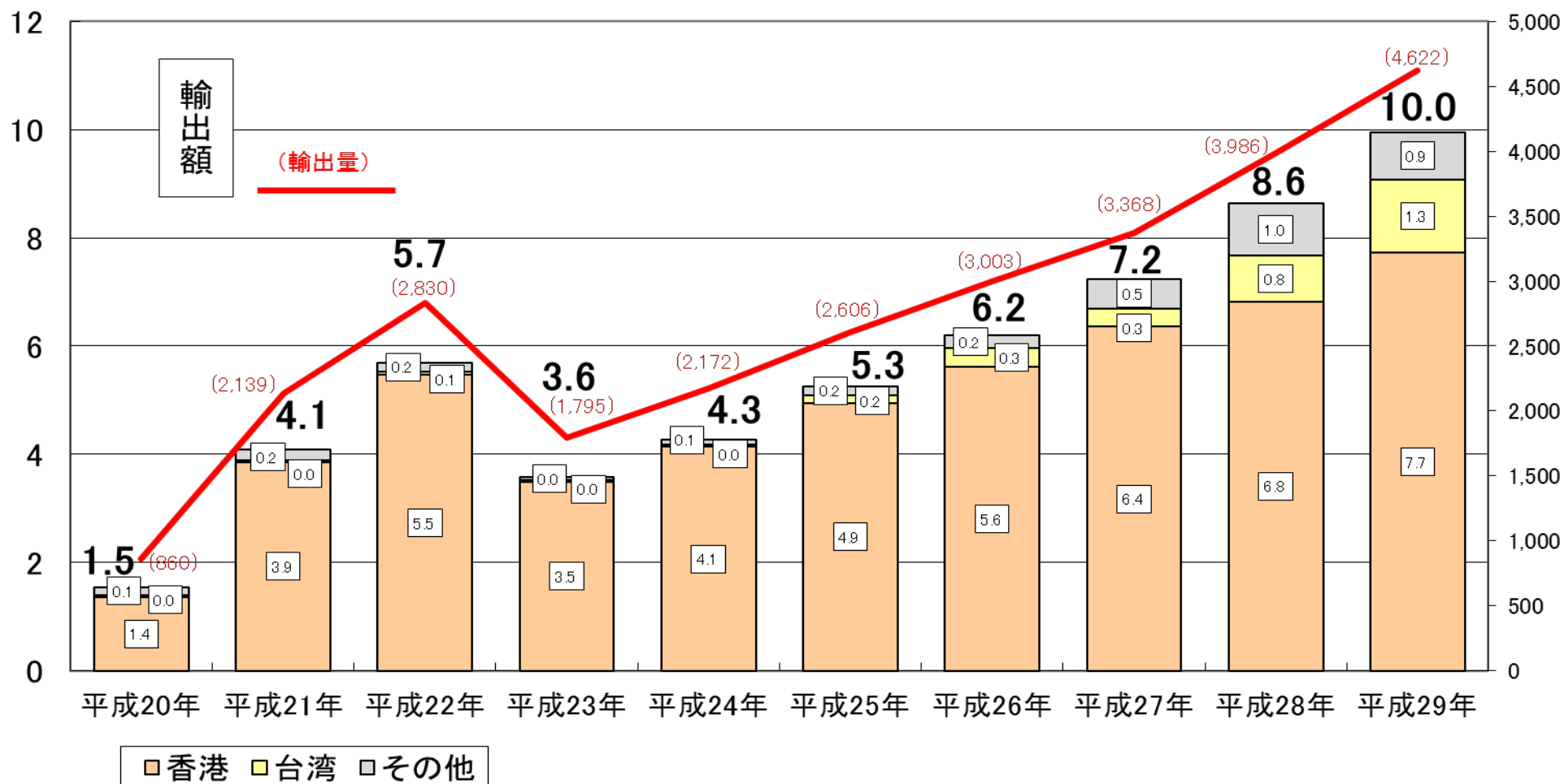
牛乳の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 中国におけるメラミン混入事案(平成20年)を背景として、香港における日本産牛乳に対する需要増により、輸出額が増加。その後、平成23年の東京電力福島第一原発の事故等の影響により、輸出額は大きく減少したものの、平成24年以降、再び増加し、平成27年からは震災前の水準を超えて伸びている。

(輸出額:億円)

(輸出量:トン)



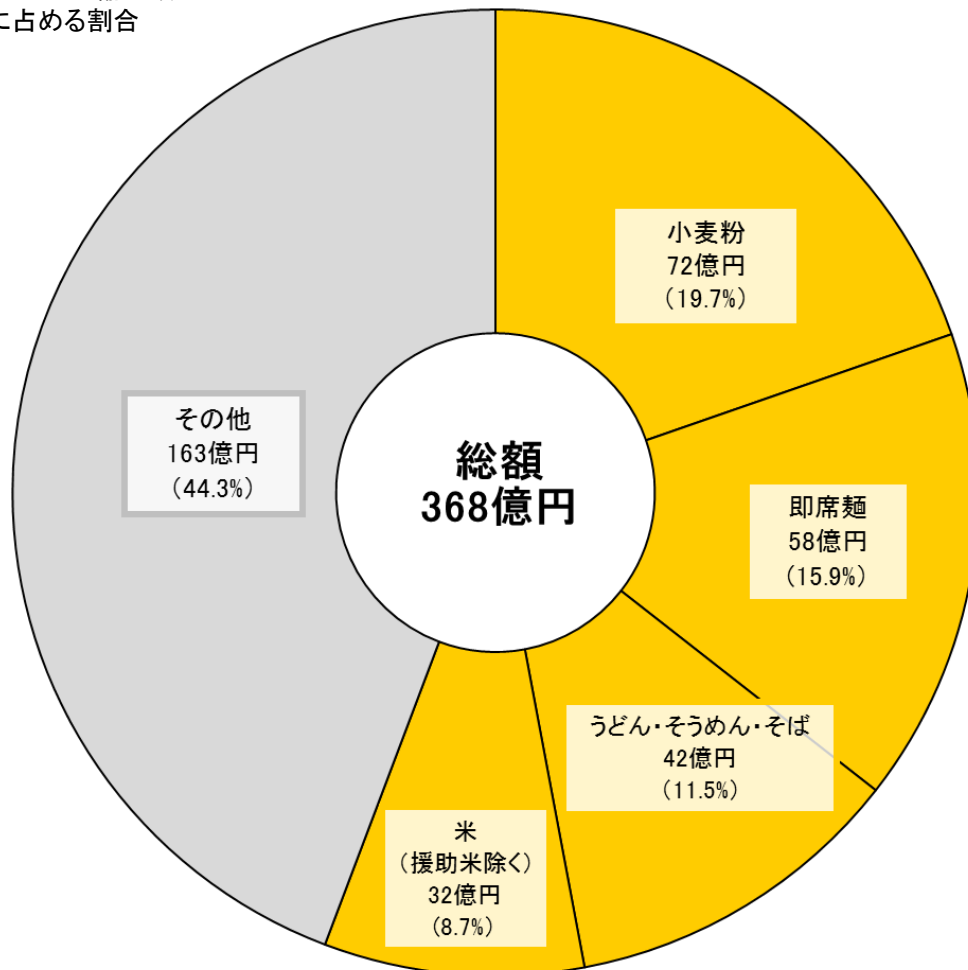
穀物等の内訳

●穀物等の品目別内訳をみると、小麦粉、即席麺、うどん・そうめん・そばなどの割合が多い。

(平成29年)

※カッコ内は輸出額
に占める割合

(単位: 億円)

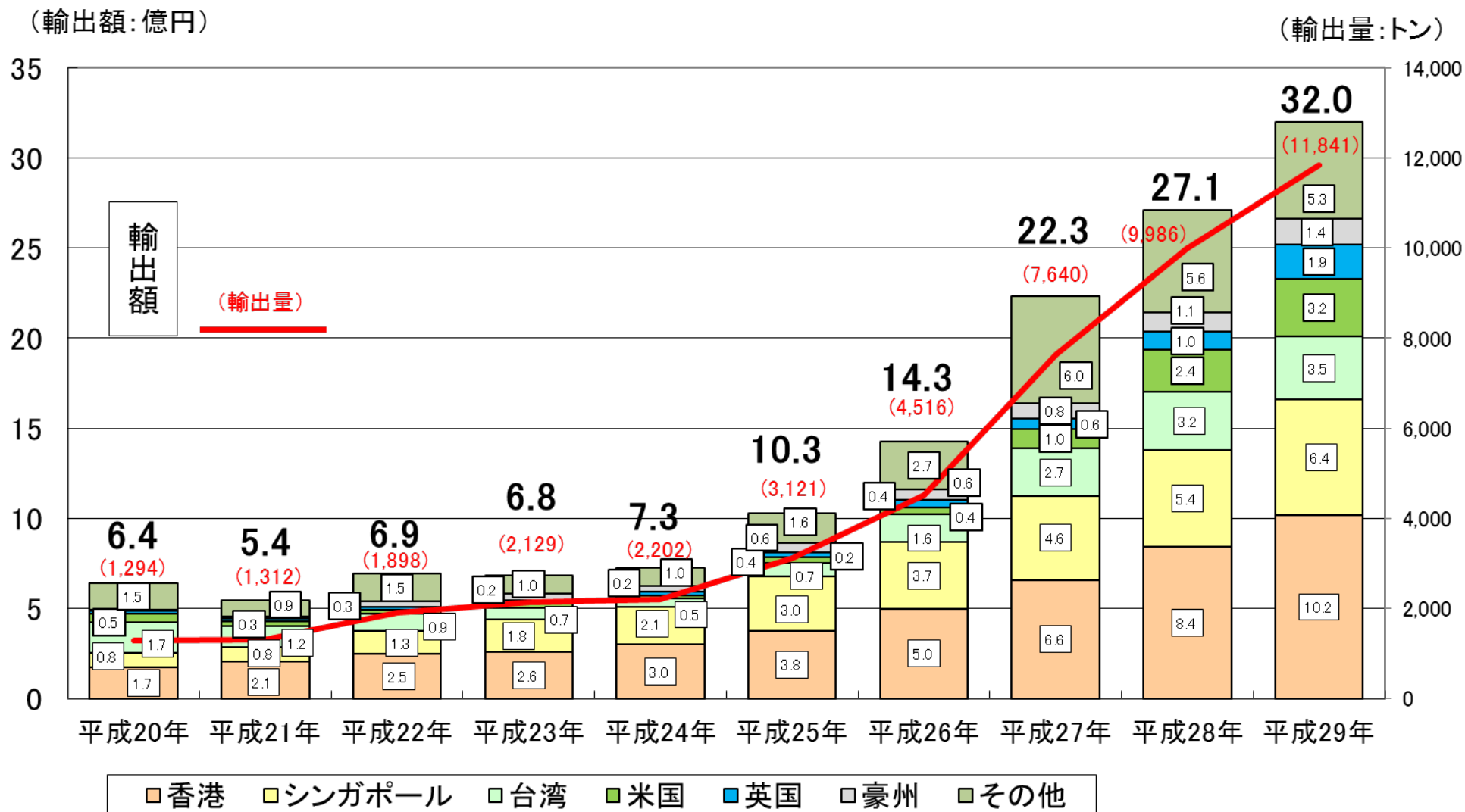


品目名	平成28年	平成29年	増減率
小麦粉	68.6	72.3	5.4%
即席麺	51.4	58.4	13.5%
うどん・そうめん・そば	40.8	42.2	3.5%
米(援助米除く)	27.1	32.0	18.1%
その他	190.0	162.6	▲14.4%
穀物等計	377.9	367.5	▲2.8%

米(援助米除く)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 援助米を除く、商業ベースの米の輸出額は、香港、シンガポール、台湾、米国向けが牽引して増加傾向。



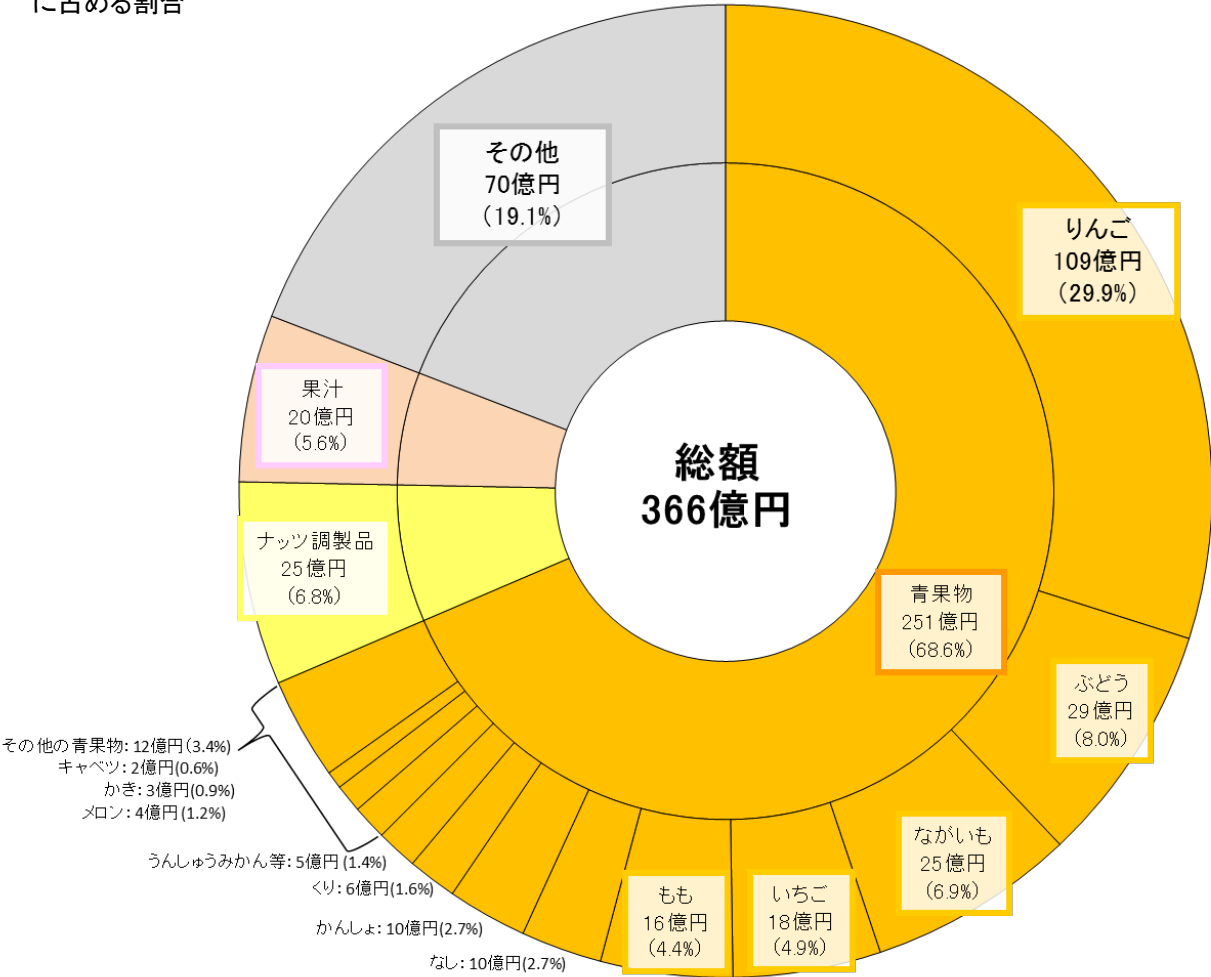
資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

野菜・果実等の内訳

● 野菜・果実等の品目別内訳をみると、りんご、ぶどうの割合が多い。

(平成29年)

※カッコ内は輸出額に占める割合



(単位: 億円)

品目名	平成28年	平成29年	増減率
青果物	254.8	251.0	▲1.5%
りんご	133.0	109.5	▲17.7%
ぶどう	23.2	29.4	26.6%
なかいも	25.6	25.3	▲1.2%
いちご	11.5	18.0	56.6%
もも	12.0	16.0	33.4%
なし	8.1	9.9	22.4%
かんしょ	8.7	9.7	12.2%
くり	3.1	6.0	96.2%
うんしゅうみかん等	5.4	5.0	▲7.1%
メロン	3.3	4.2	27.6%
かき	2.5	3.4	37.4%
キャベツ	1.6	2.1	33.1%
その他の青果物	16.8	12.4	▲26.4%
ナッツ調製品	24.3	24.7	1.5%
果汁	18.1	20.3	12.1%
その他	79.8	70.1	▲12.2%
野菜・果実等計	377.1	366.1	▲2.9%

資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

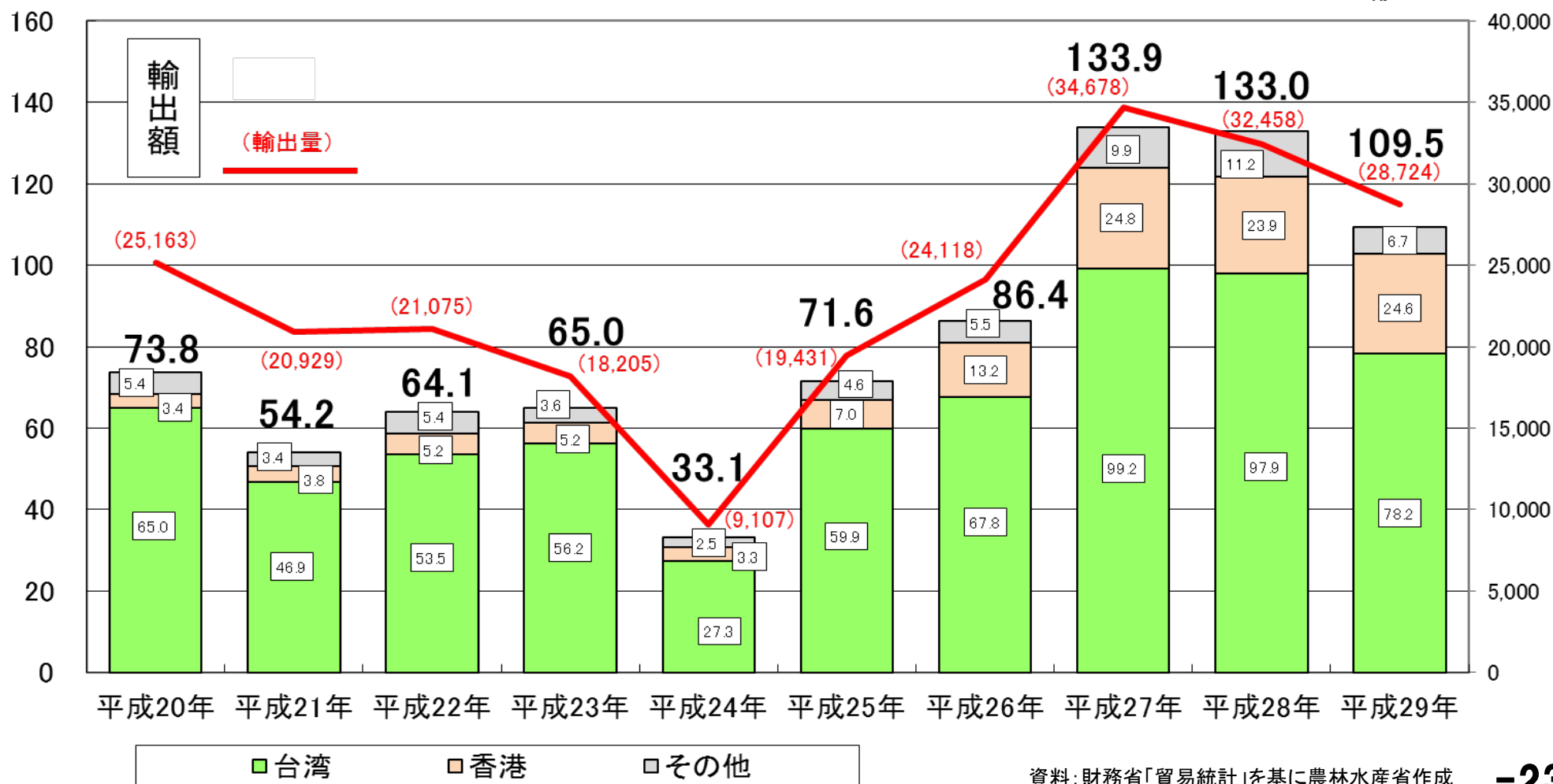
りんごの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- りんごは果実輸出の主力産品であり、台湾向けが中心。平成26年産及び27年産ともに作柄が良く、品質が高く評価され、輸出が伸びたが、平成28年産は、①生産量の減少により価格が高めに推移したこと、②特に、贈答用の高品質な大玉が少なかったこと等が原因で平成29年の輸出は減少した。

(輸出額:億円)

(輸出量:トン)



資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

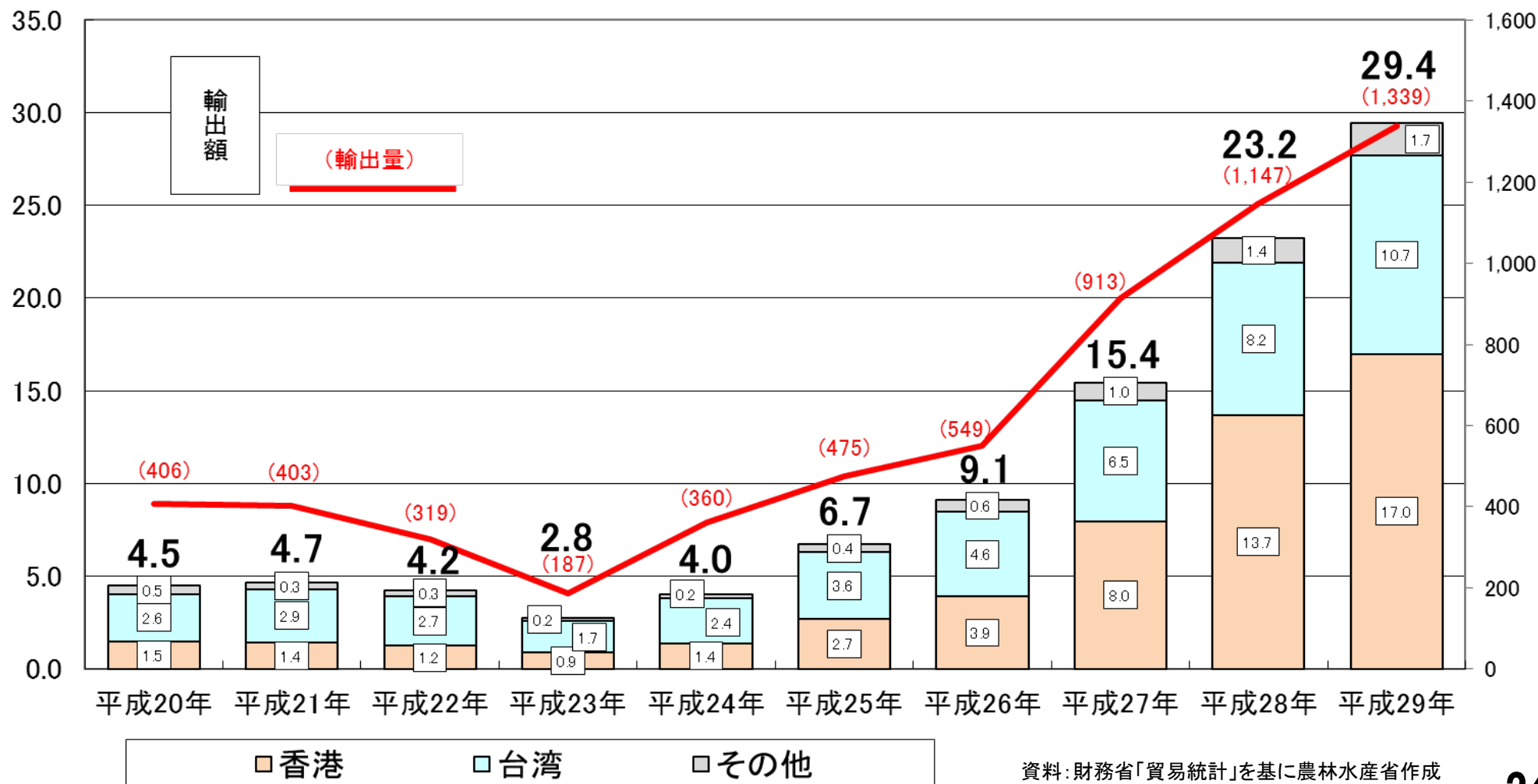
ぶどうの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- ぶどうの輸出額は、平成28年産の作柄が良好であったことや、輸出団体のPR効果により、香港、台湾においてシャインマスカットの評価が高く需要が増加。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



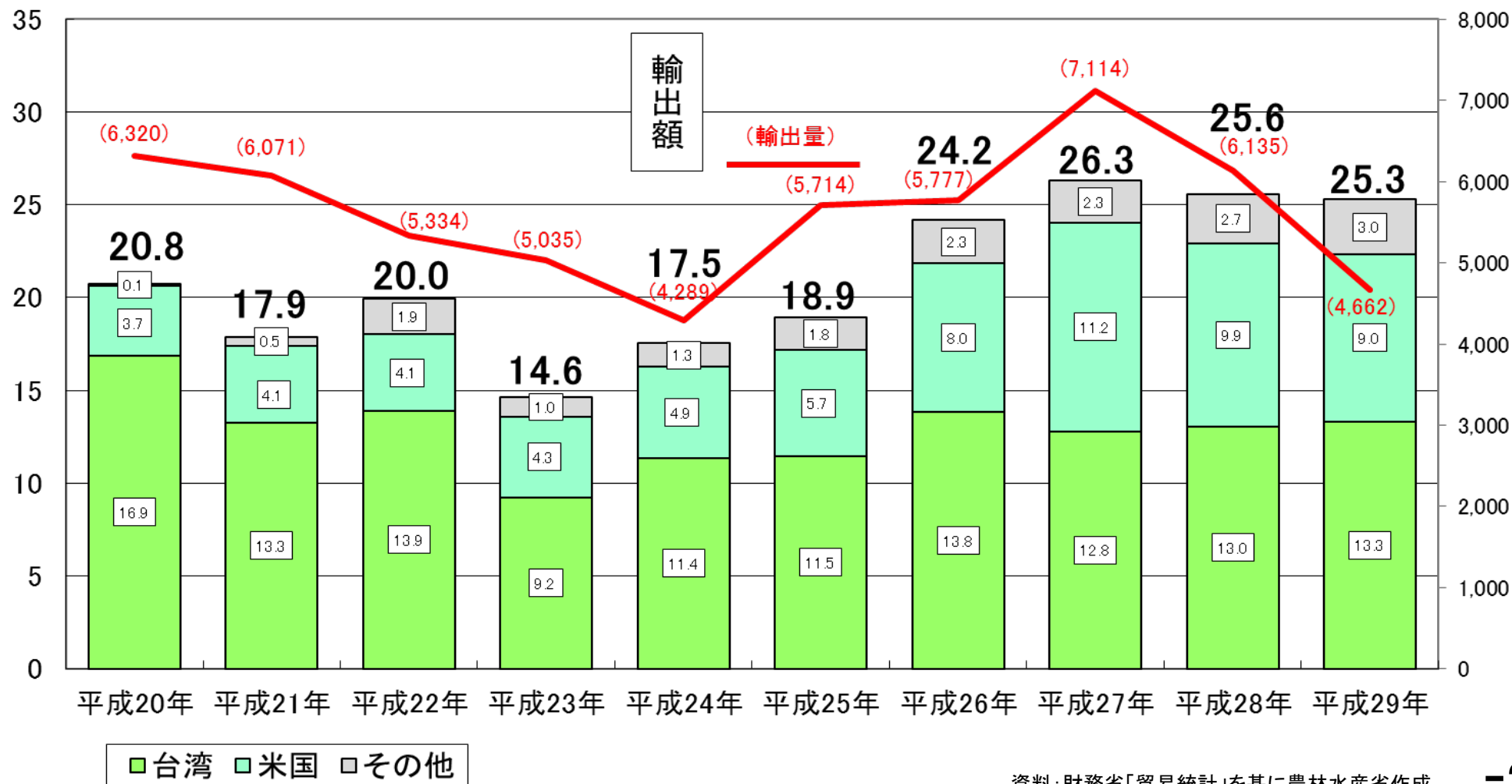
ながいもの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- ながいものは、野菜輸出の主力産品であり、震災後、増加傾向。主に台湾、米国向けに輸出。
- 平成28年産が台風や長雨等の影響により作柄不良で正品率が低下したため、平成29年の輸出量は減少。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

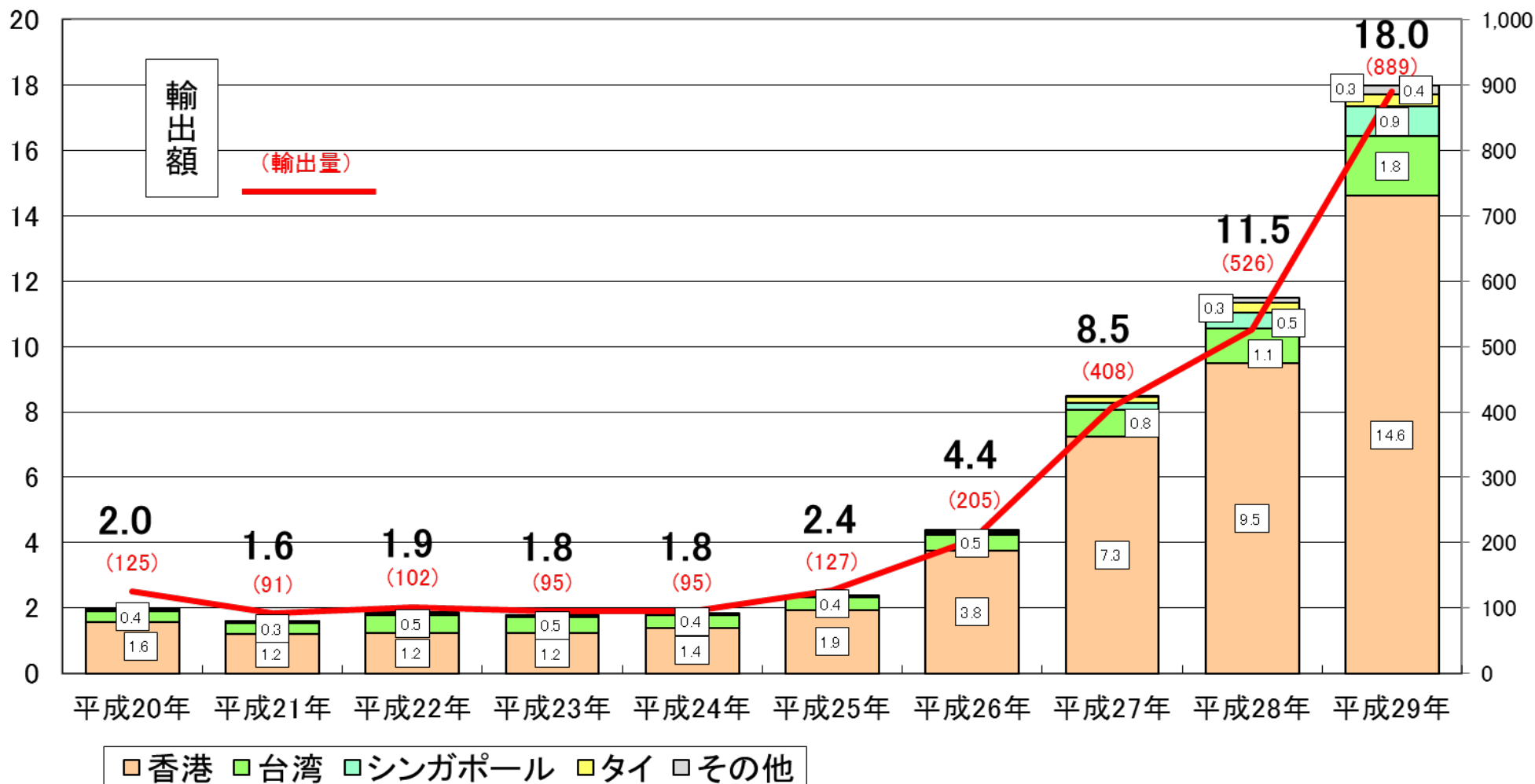
いちごの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

●平成24年以降大きく伸びており、香港や台湾で「あまおう」などの日本産いちごの需要が増加している。

(輸出額:億円)

(輸出量:トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

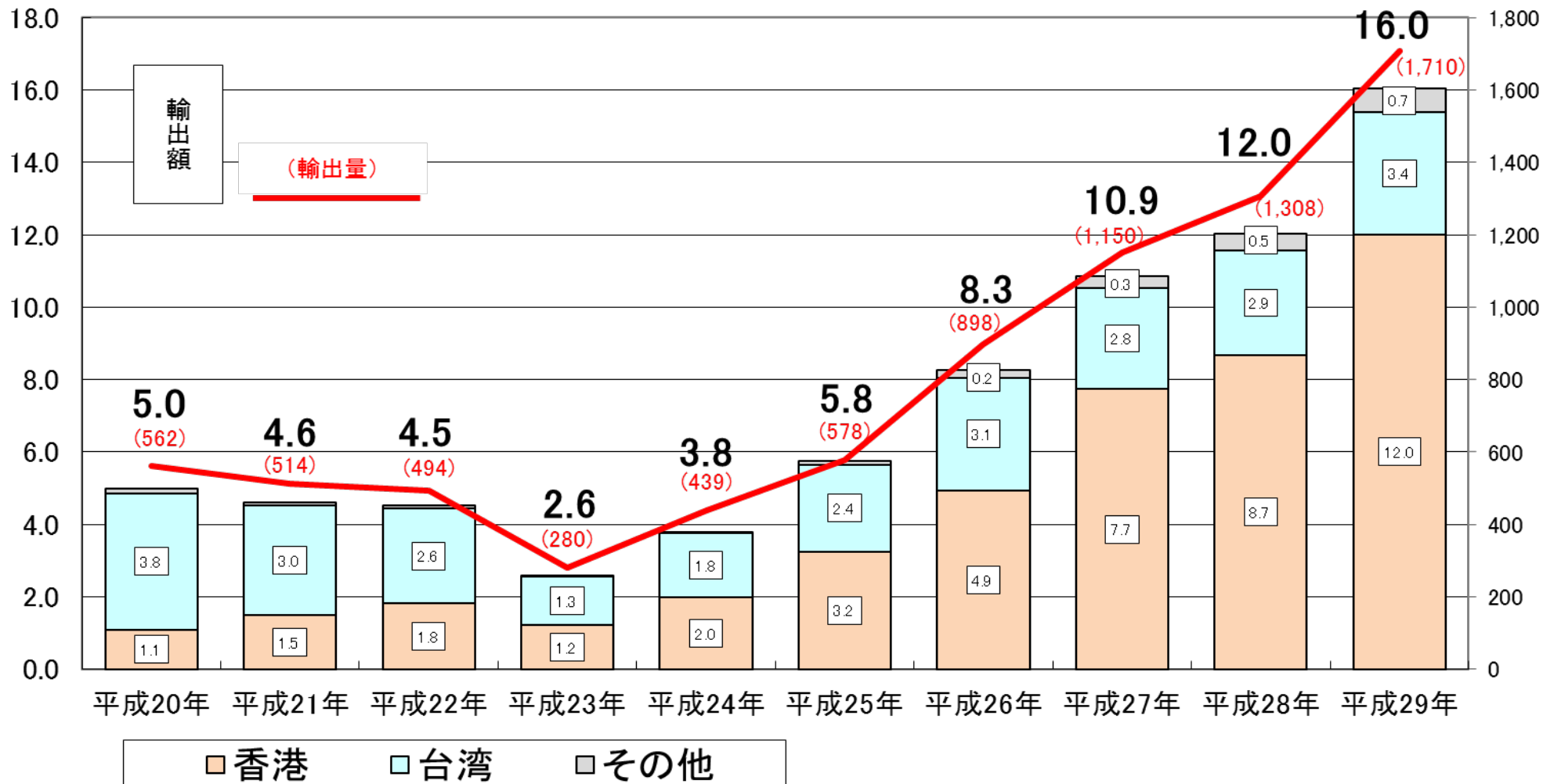
ももの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- ももの輸出額は、香港、台湾向けが多く、平成24年以降、大きく伸びている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

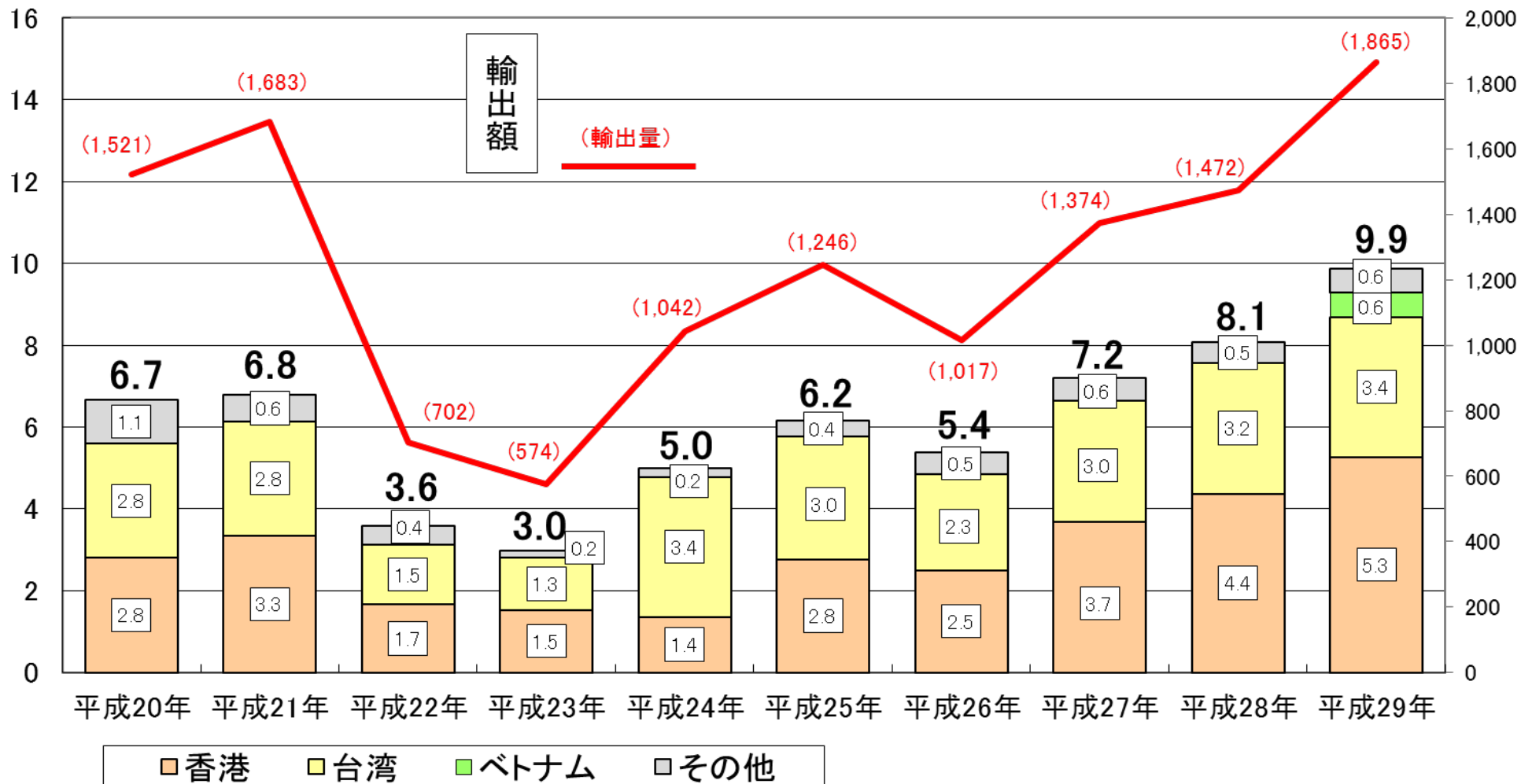
なしの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- なしは、主に香港、台湾向けに贈答用としての需要が増加。

(輸出額:億円)

(輸出量:トン)



資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

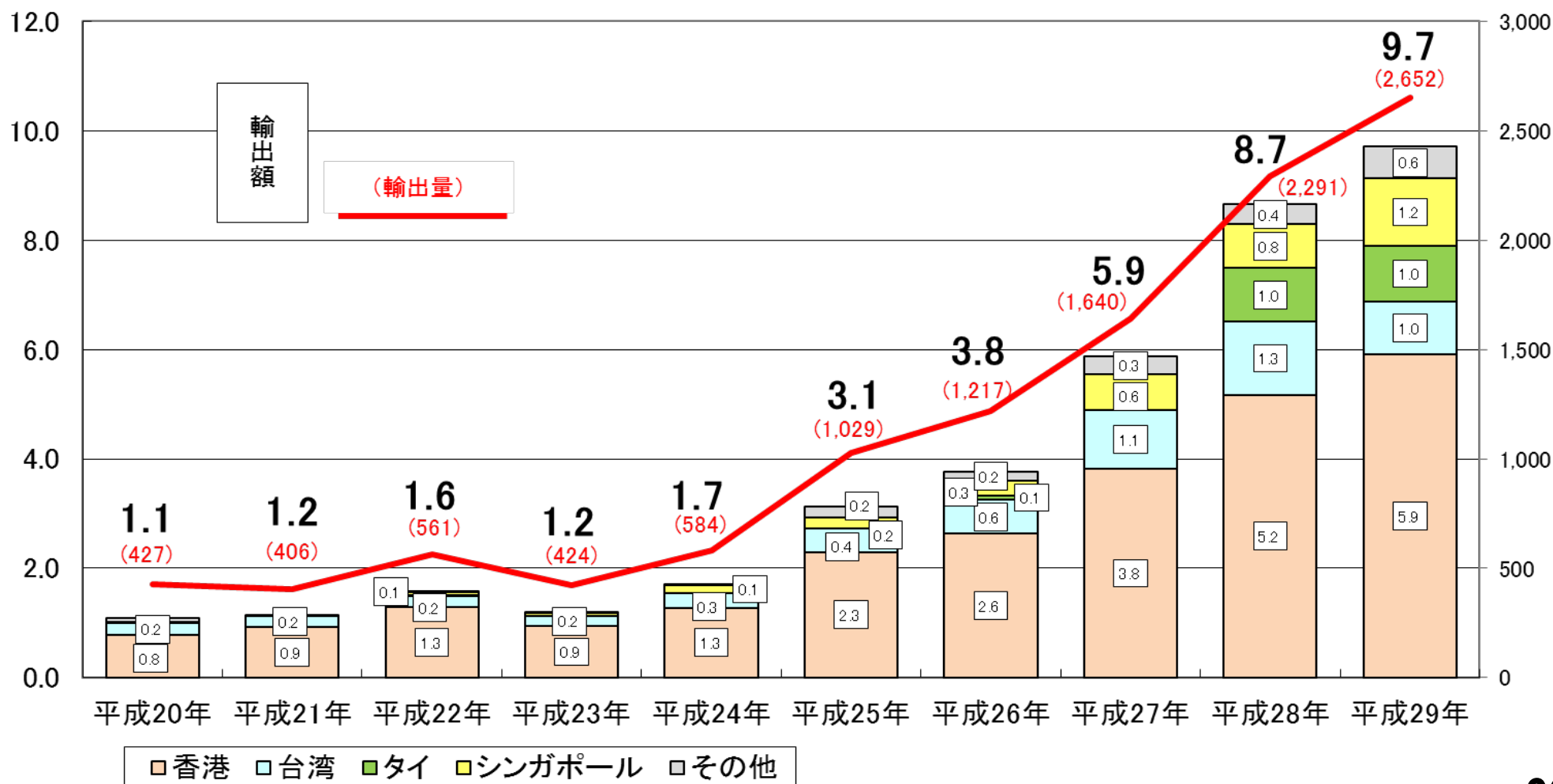
かんしょの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- かんしょは、主に香港、台湾向けが中心。なお、近年はシンガポールやタイなど東南アジア向けの需要が増加している。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

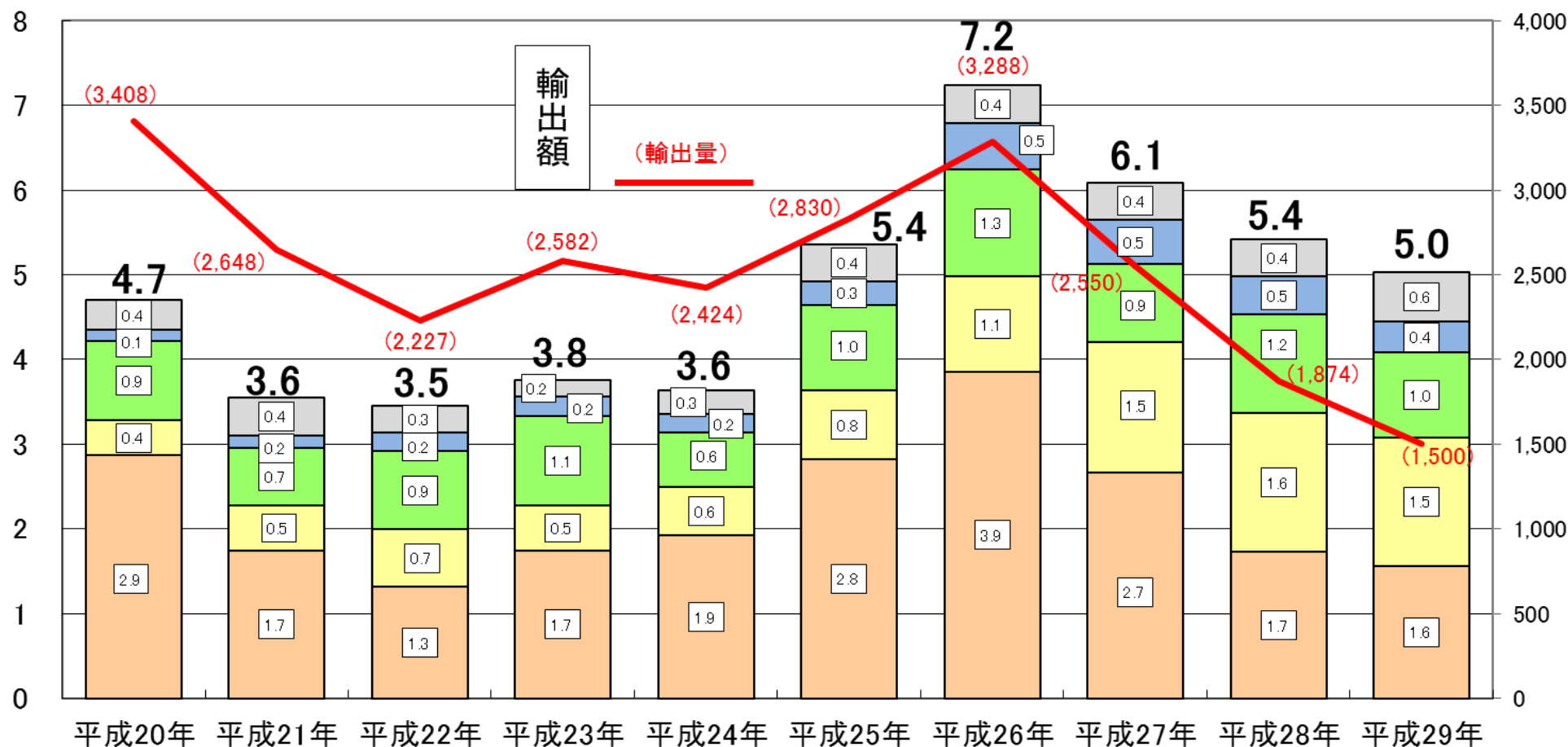
うんしゅうみかん等の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- うんしゅうみかん等の輸出額は、主にカナダ、香港、台湾向けに輸出。平成28年産が天候不良の影響で生産量が少なく、国内出荷に回される割合が高くなった影響を受け減少傾向。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



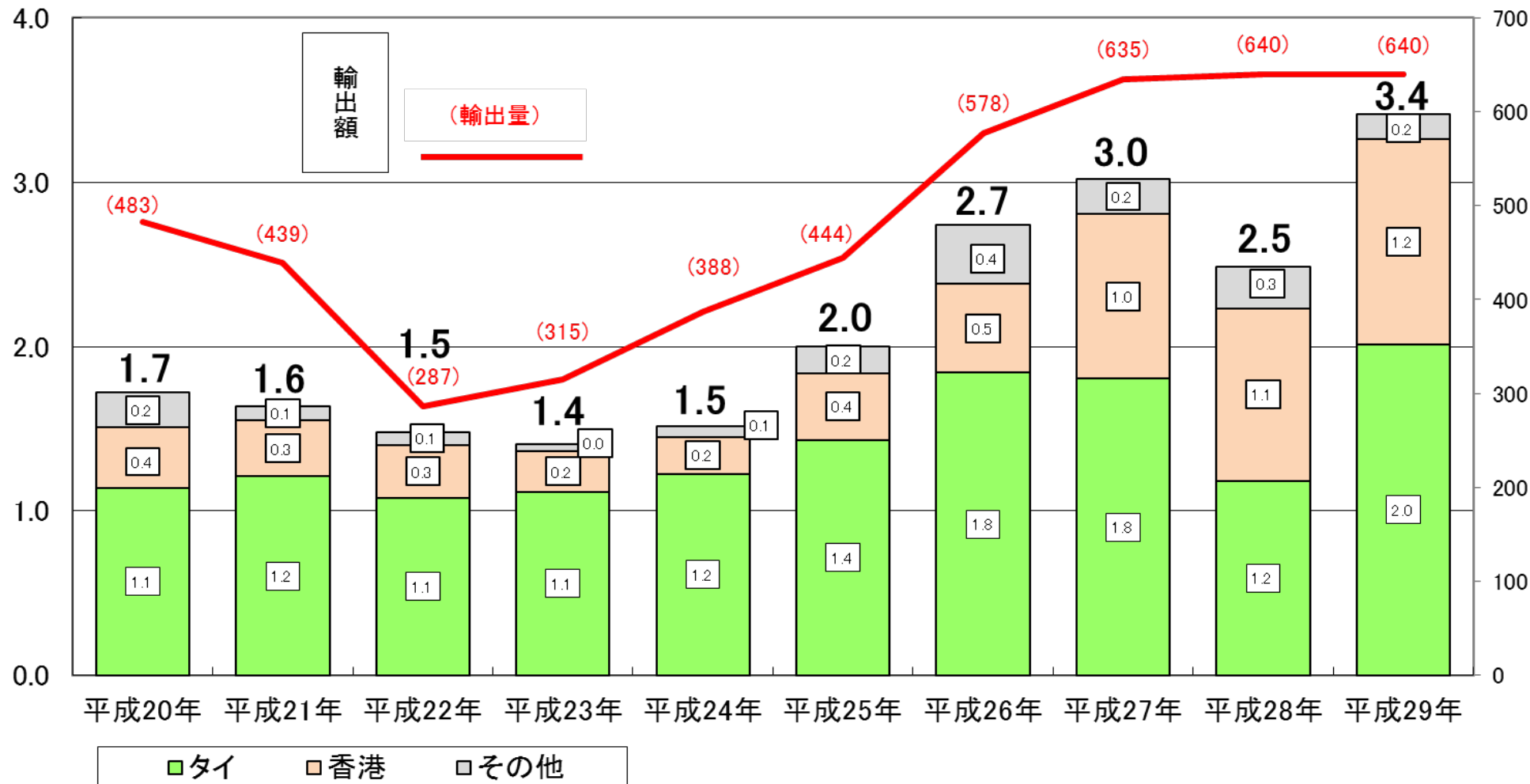
□カナダ □香港 □台湾 □シンガポール □その他

かきの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

- かきの輸出額は、タイ、香港向けが多い。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



その他農産物の内訳

- その他の農産物では、たばこ、緑茶、たばこなどの割合が多い。

(単位: 億円)

(平成29年)

※カッコ内は輸出額
に占める割合



品目名	平成28年	平成29年	増減率
播種用の種等	146.2	151.7	3.7%
緑茶	115.5	143.6	24.3%
たばこ	218.7	138.2	▲36.8%
花き	87.5	134.9	54.2%
植木等	80.3	126.3	57.2%
切花	7.2	8.6	20.3%
植物性油脂	75.8	82.9	9.3%
ごま油	56.7	58.7	3.6%
ひまし油	2.4	2.5	7.0%
菜種油・からし種油	2.5	2.1	▲12.9%
大豆油	0.9	0.8	▲17.1%
パーム油	0.4	0.4	1.9%
あまに油	0.1	0.1	13.5%
配合調製飼料	69.4	67.2	▲3.3%
メントール	56.1	37.7	▲32.9%
植物の液汁エキス	30.9	29.9	▲3.3%
その他	172.4	185.4	7.5%
その他農産物計	972.7	971.4	▲0.1%

※「メントール」・・・ハッカから抽出される成分で、チューインガムや歯磨き等に使用。

※「植物の液汁エキス」・・・用途は健康食品や化粧品など。

資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

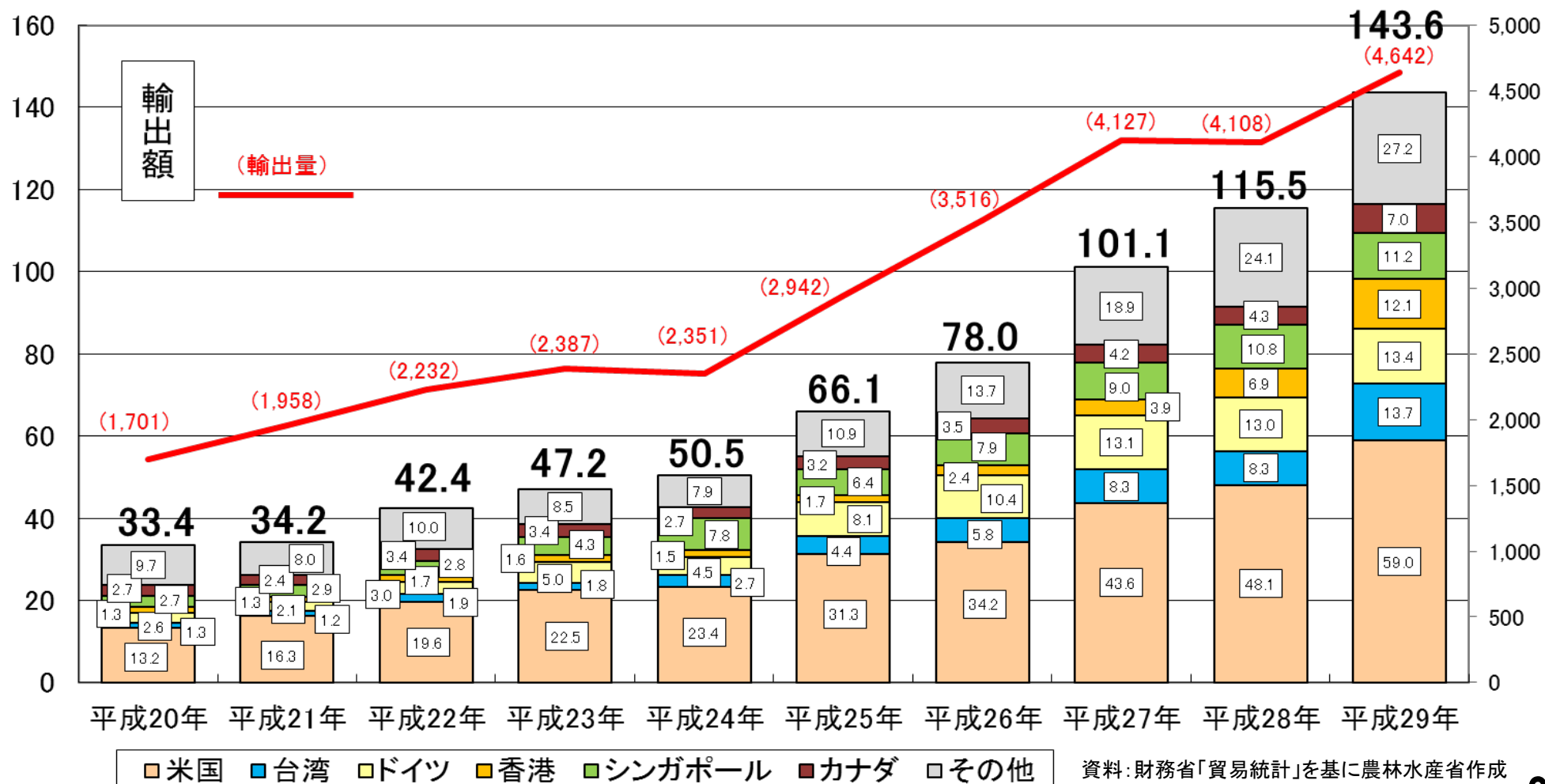
緑茶の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 緑茶の輸出額は、順調に増加しており、米国向けの輸出額が多い。
- 各国における健康志向の高まりにより、緑茶の効能が受け入れられていることや、飲用だけでなく様々な用途(菓子、料理、アイスクリーム等)に抹茶が活用されていることで、輸出が伸びている。

(輸出額:億円)

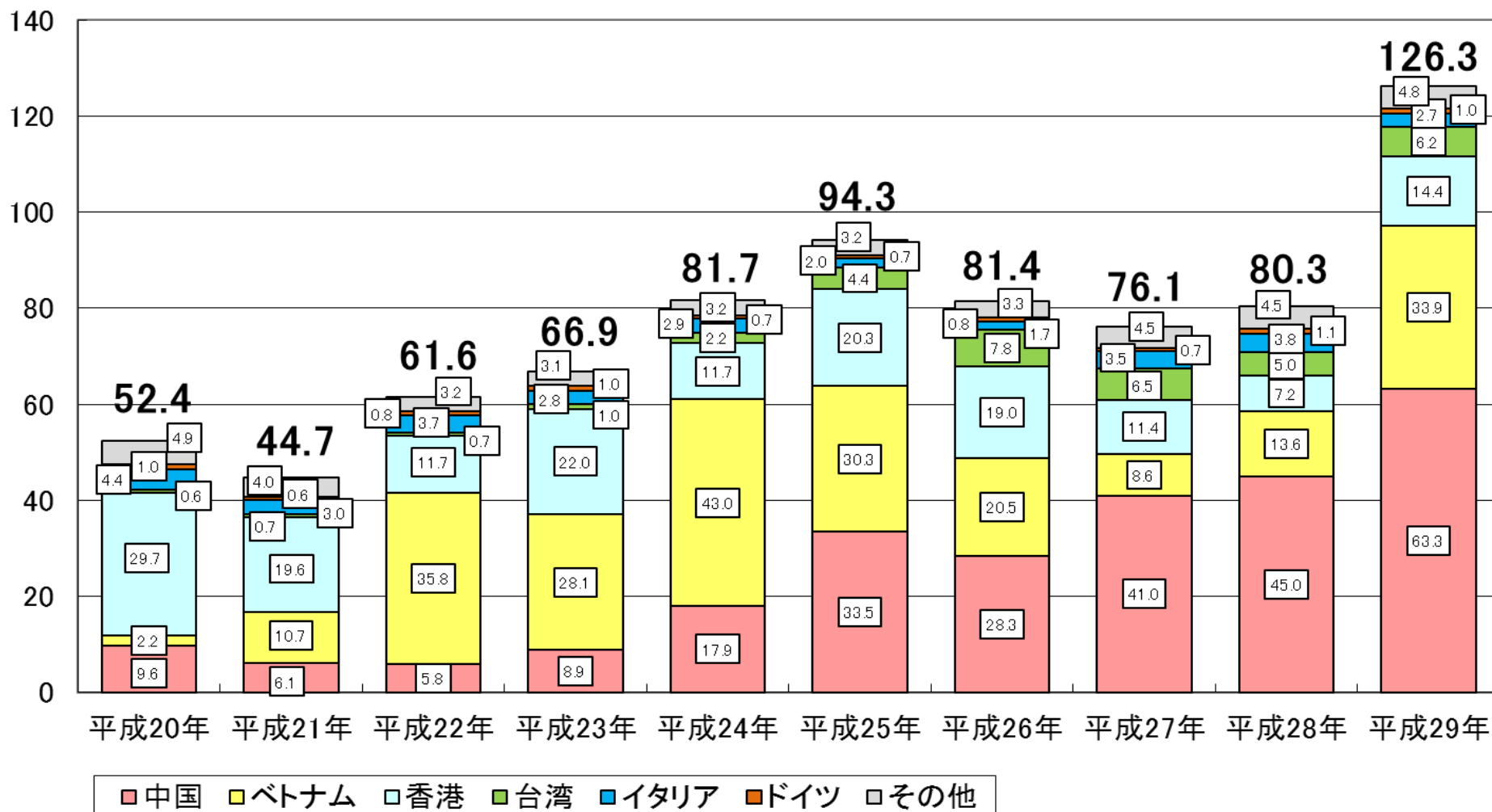
(輸出量:トン)



植木等の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

- 植木等(植木類、盆栽類、鉢物類)の輸出額は、中国、ベトナム、香港、台湾向けで全体の約9割を占める。

(輸出額:億円)



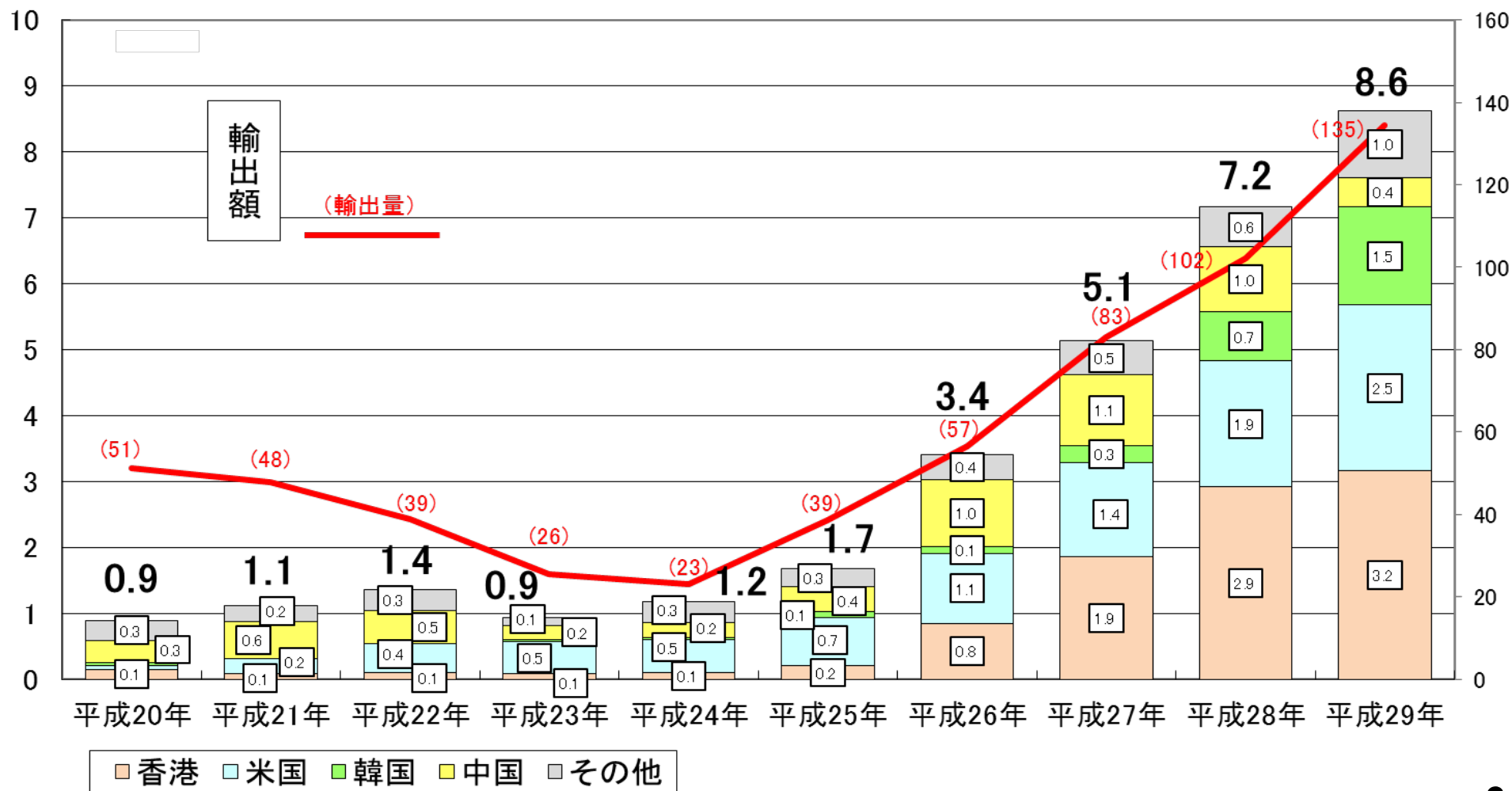
切花の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 切花の輸出額は、香港、米国、韓国、中国向けで全体の約9割を占める。近年増加傾向にある中、平成26年から大きく伸びている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

- 林産物の品目別内訳をみると、丸太、合板及び製材の割合が多い。

(平成29年)
※カッコ内は輸出額
に占める割合

(単位:億円)

総額
355億円

丸太
137億円
(38.6%)

その他
65億円
(18.4%)

製材
54億円
(15.2%)

合板
59億円
(16.7%)

木製建具及び建築用木工品
17億円(4.7%)

繊維板:7億円(2.0%)

植物性ろう:7億円(2.0%)

パーティクルボード:5億円(1.5%)

木炭:4億円(1.0%)

品目名	平成28年	平成29年	増減率
丸太	84.7	136.8	61.6%
合板	45.8	59.2	29.1%
製材	37.5	53.8	43.4%
木製建具及び建築用木工品	11.2	16.7	49.1%
繊維板	9.0	7.1	▲20.4%
植物性ろう	8.4	6.9	▲16.9%
パーティクルボード	5.3	5.4	0.9%
木炭	3.8	3.6	▲5.0%
その他	62.5	65.3	4.5%
林産物計	268.2	354.9	32.3%

※「繊維板」:木材・竹・わら・パルプなどの植物繊維を圧縮成形して作った板。用途は、断熱・吸音材、壁パネル・外装など。

※「パーティクルボード」:木材の小削片を主原料として板状に成型した建材。用途はプレハブ住宅などの床・壁・屋根下地など。

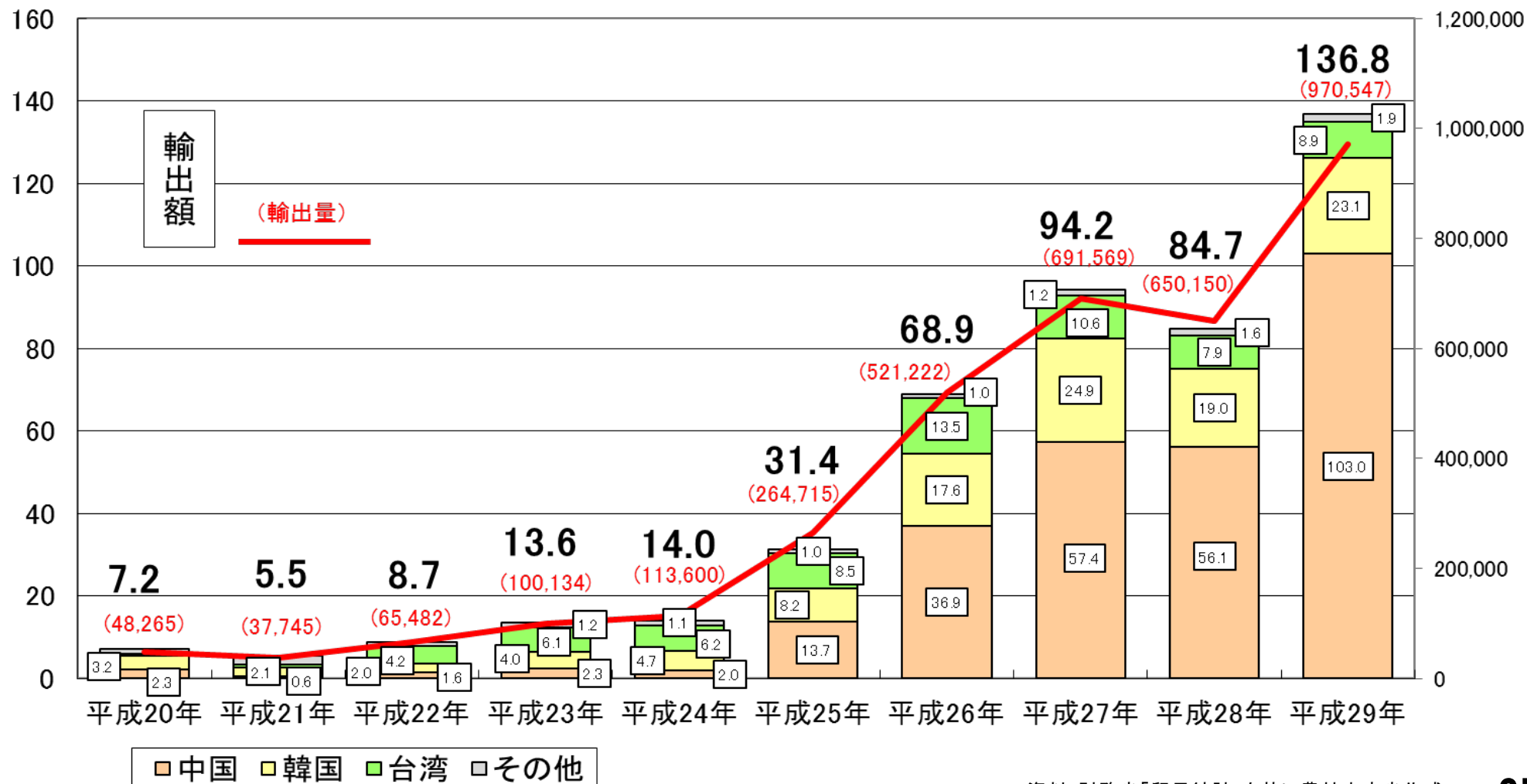
丸太の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 中国において、国内需要や米国向けに加工される住宅フェンス材の原料としての需要が高まり、輸出が大きく増加。

(輸出額: 億円)

(輸出量: 立方メートル)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

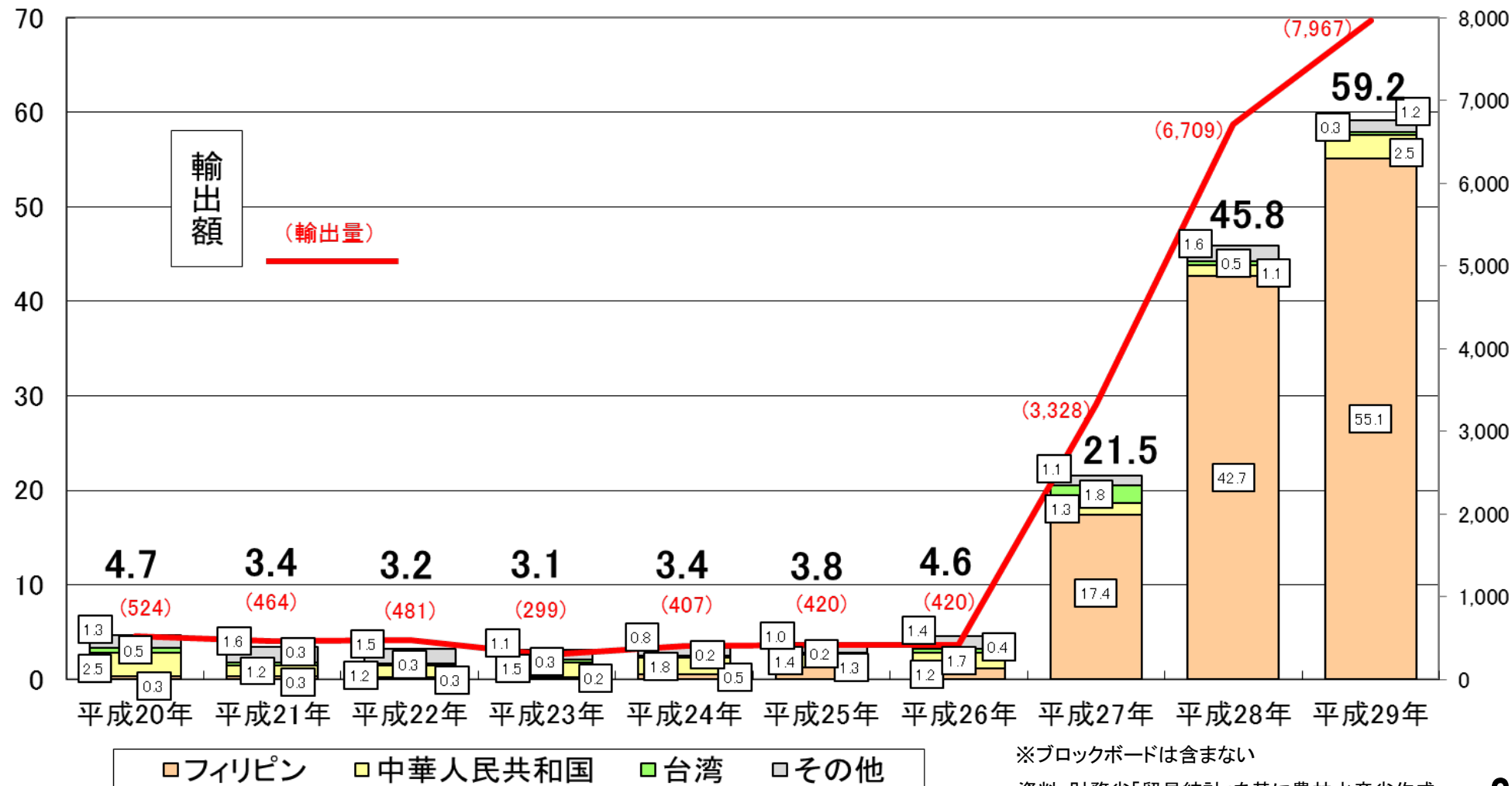
合板の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 合板(ブロックボードを除く)の輸出は、近年、フィリピン向けを中心に急増。

(輸出額: 億円)

(輸出量: 千平方メートル)



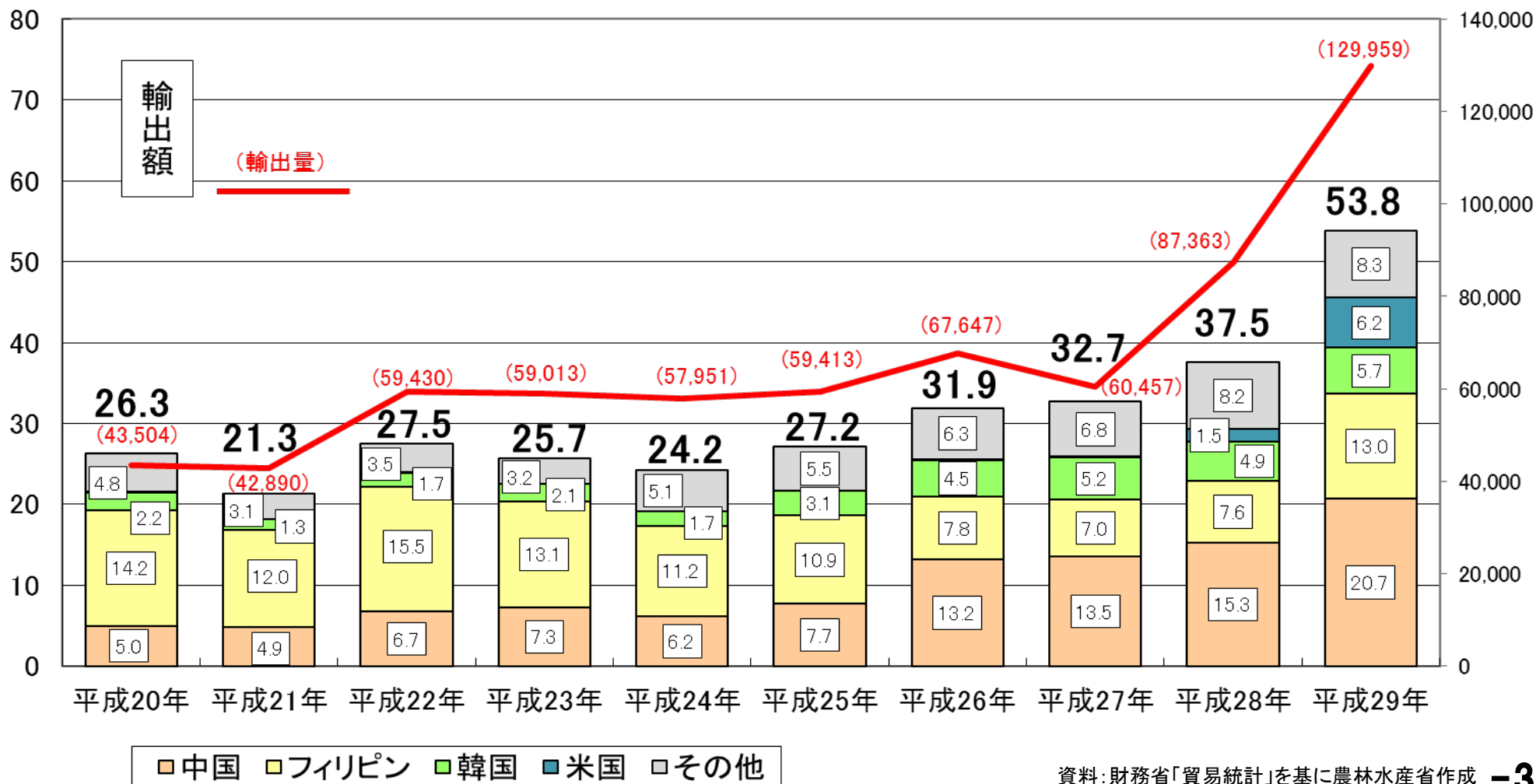
製材の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 中国、フィリピン、韓国、米国向けに輸出額計の約8割を占める。
- 平成28年より、米国向けに住宅フェンス用製材の輸出が急増。

(輸出額: 億円)

(輸出量: 立方メートル)



水産物(水産調製品以外)の内訳

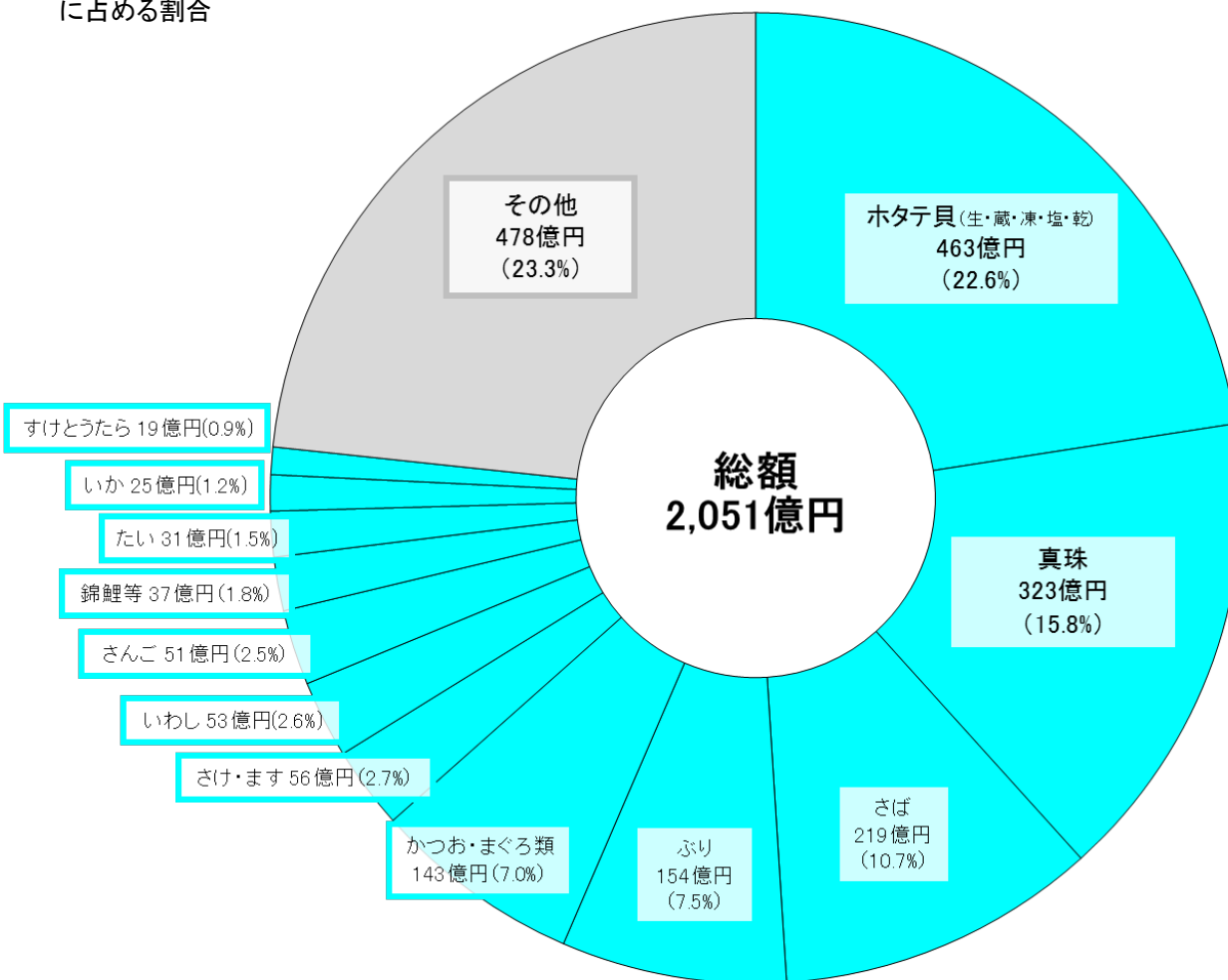
MAFF

●水産物(水産調製品以外)の品目別内訳をみると、ホタテ貝、真珠、さば、ぶりなどの割合が多い。

(平成29年)

※カッコ内は輸出額
に占める割合

(単位: 億円)



品目名	平成28年	平成29年	増減率
ホタテ貝(生・蔵・凍・塩・乾)	548.3	462.5	▲15.6%
真珠	303.8	323.3	6.4%
さば	179.9	218.8	21.7%
ぶり	134.7	153.8	14.2%
かつお・まぐろ類	97.9	142.6	45.6%
さけ・ます	65.4	56.1	▲14.1%
いわし	34.6	53.0	53.3%
さんご	63.6	51.5	▲19.0%
錦鯉等	35.6	36.7	3.1%
たい	30.1	31.1	3.5%
いか	35.8	24.6	▲31.4%
すけとうたら	23.5	18.7	▲20.3%
その他	401.3	478.3	19.2%
水産物(水産調製品以外)計	1,954.4	2,051.1	4.9%

資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

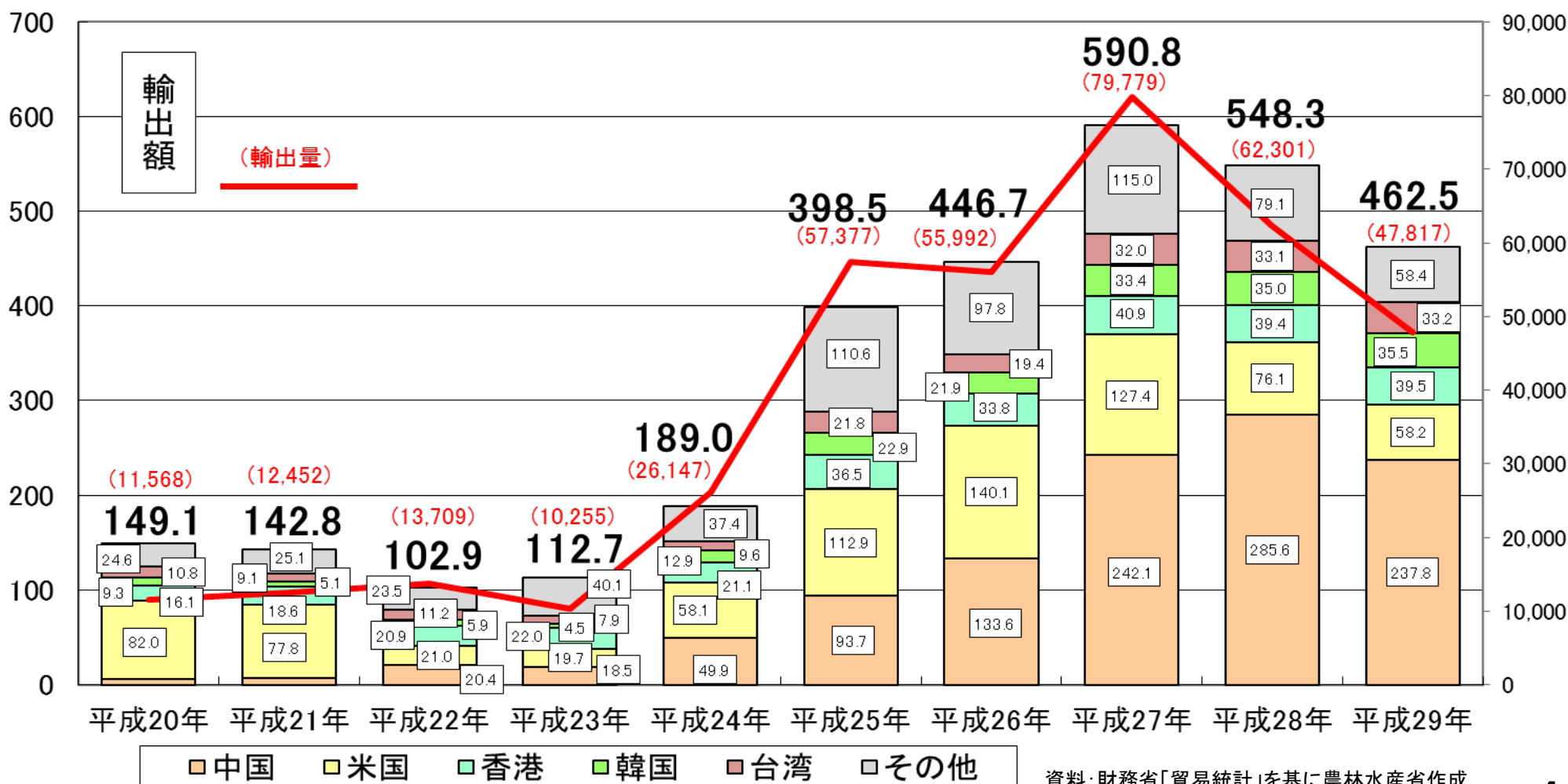
ホタテ貝(生鮮・冷蔵・冷凍・塩蔵・乾燥)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 平成24年以降、輸出額は顕著に増加したが、水揚量の減少等により、平成28年以降は減少。
- 平成29年の輸出額は、輸出上位国の中国・米国向けで全体の約6割を占める。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



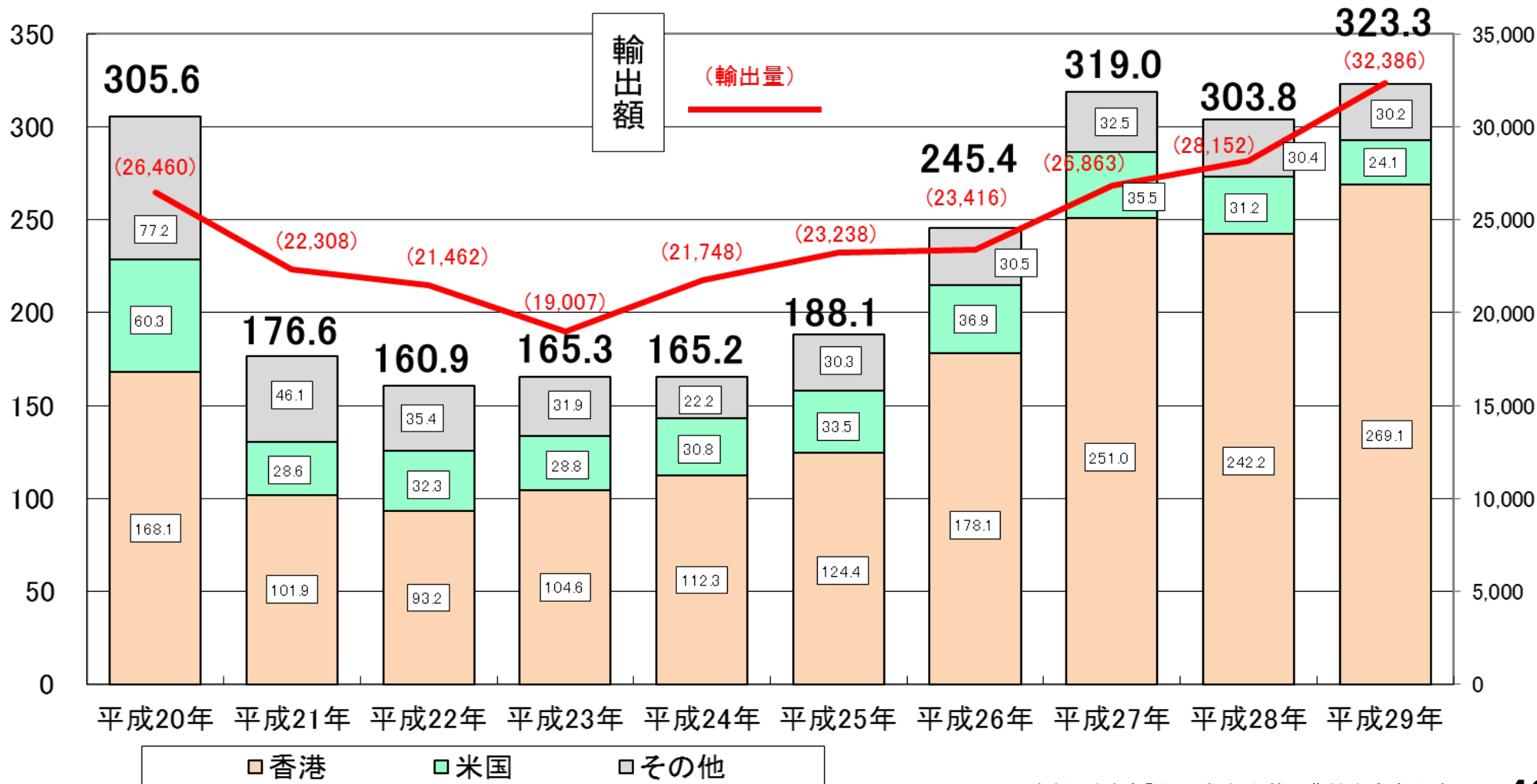
真珠の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 平成25年以降、輸出額は増加傾向で推移。
- 平成29年の輸出額は、香港向けが全体の約8割を占める。

(輸出額: 億円)

(輸出量: キログラム)

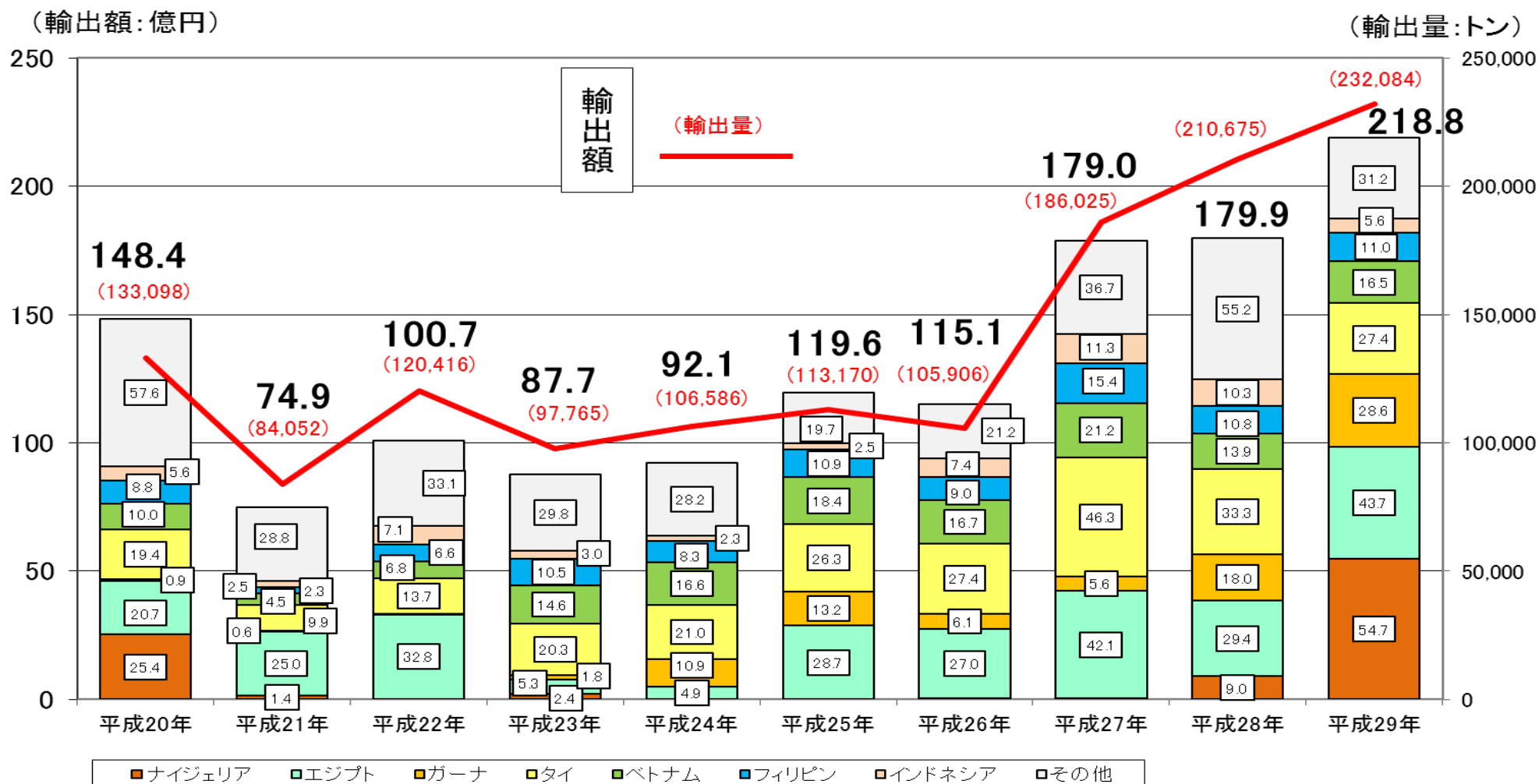


資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

さばの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 平成27年以降、輸出額は増加傾向で推移。
- 平成29年の輸出額は、ナイジェリアやエジプト、ガーナ等のアフリカ向けが全体の約6割を占め、タイやベトナム、フィリピン等の東南アジア向けが全体の約3割を占める。



※輸出額は、平成22年までは冷蔵及び冷凍品の計。平成23年からは生鮮、冷蔵及び冷凍品の計
資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

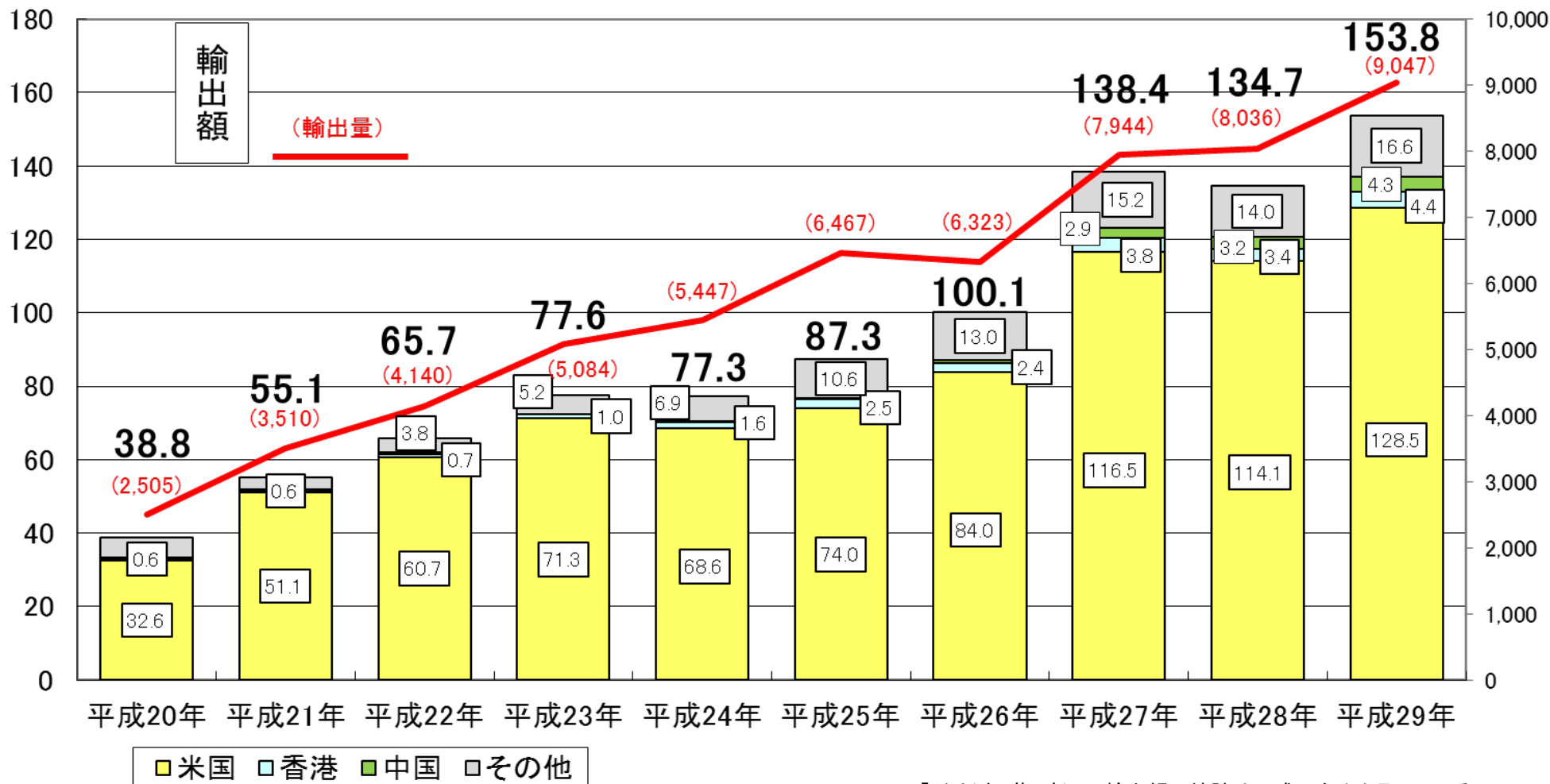
ぶりの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 輸出額は、年々増加傾向で推移。
- 平成29年の輸出額は、米国向けが全体の約8割を占めるほか、香港や中国の需要が高まっている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



※「ぶり(生・蔵・凍)」の輸出額の統計は平成20年から取っている
資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

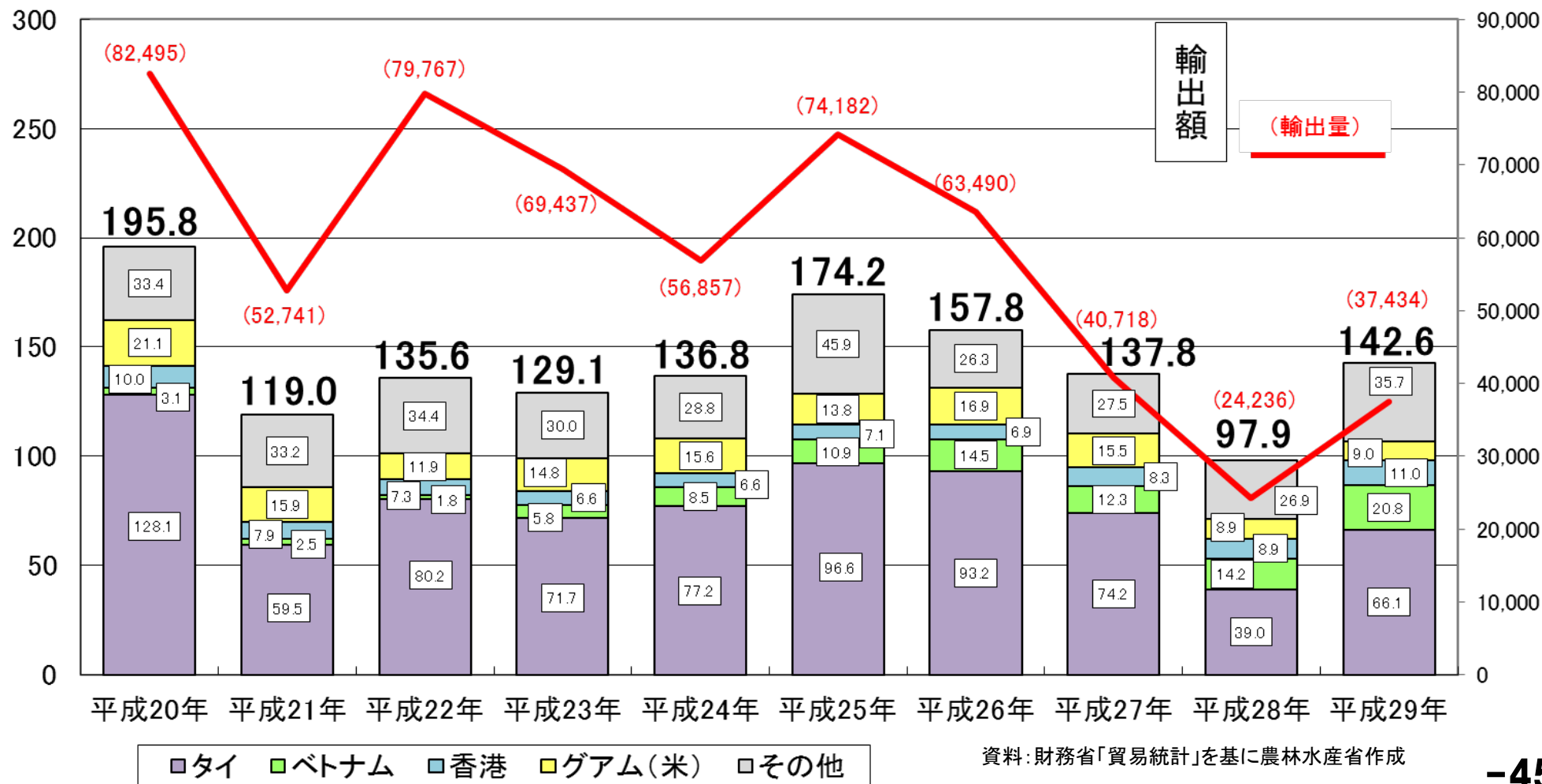
かつお・まぐろ類の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 平成26年以降、輸出額は減少傾向で推移していたが、平成29年は国際相場が上昇した影響を受け、輸出へ仕向ける量が増え、輸出額が増加。
- 平成29年の輸出額は、タイ・ベトナム向けが全体の約6割を占める。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



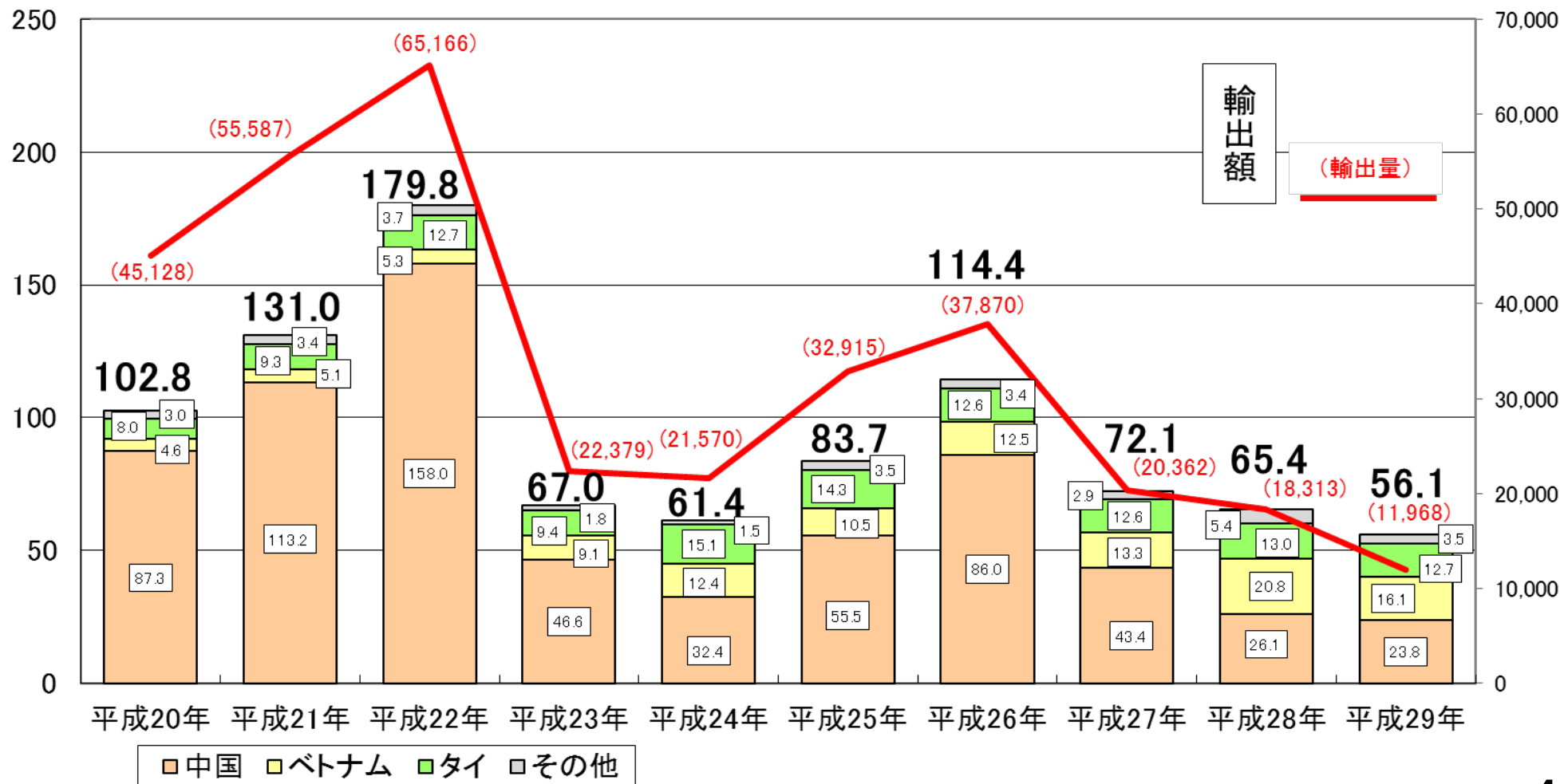
さけ・ますの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 近年の漁獲量の減少により、輸出額は減少傾向で推移。
- 平成29年の輸出額は、中国向けが全体の約4割を占めるほか、ベトナム、タイ向けが全体の約5割を占める。

(輸出額:億円)

(輸出量:トン)

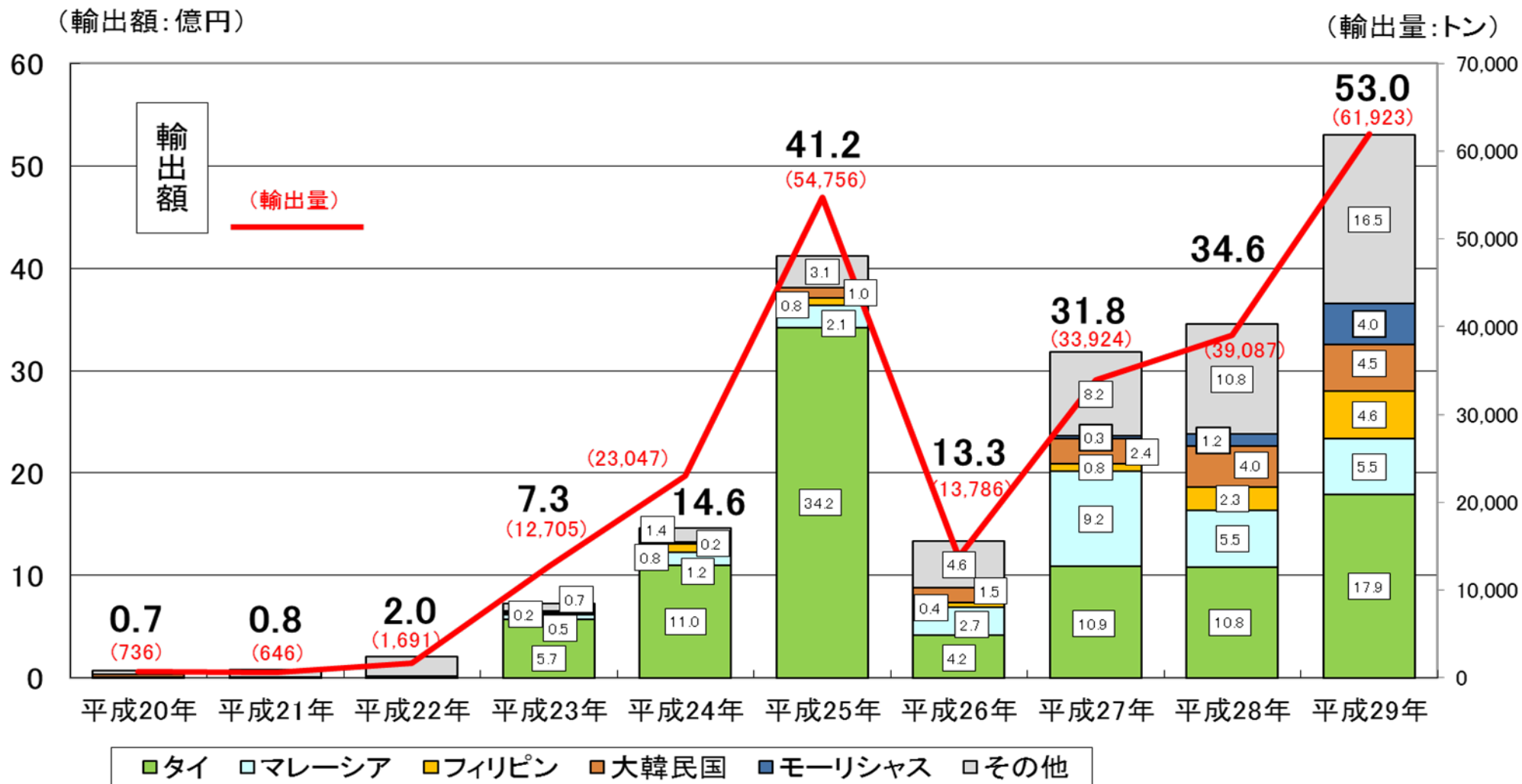


資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

いわしの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 平成27年以降、輸出額は増加傾向。
- 平成29年の輸出額は、タイやマレーシアなどアジアを中心に多くの国・地域向けに輸出。



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

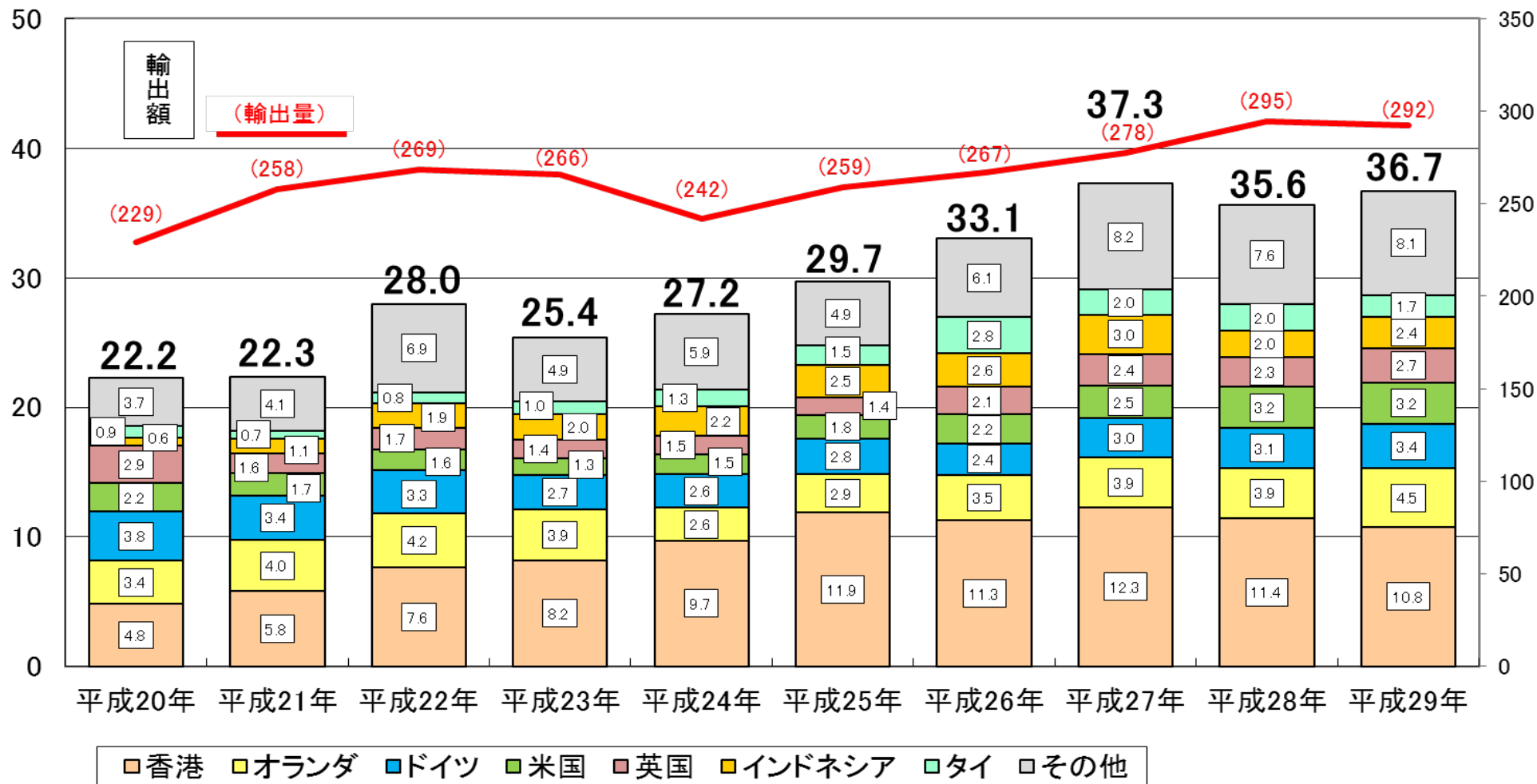
錦鯉等観賞用魚の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 欧米やアジアの富裕層を中心に日本文化の象徴として楽しまれており、年々増加傾向で推移。
- 平成29年は、香港等のアジア向けやオランダ・ドイツ等の欧州向けをはじめとして多く国・地域向けに輸出。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

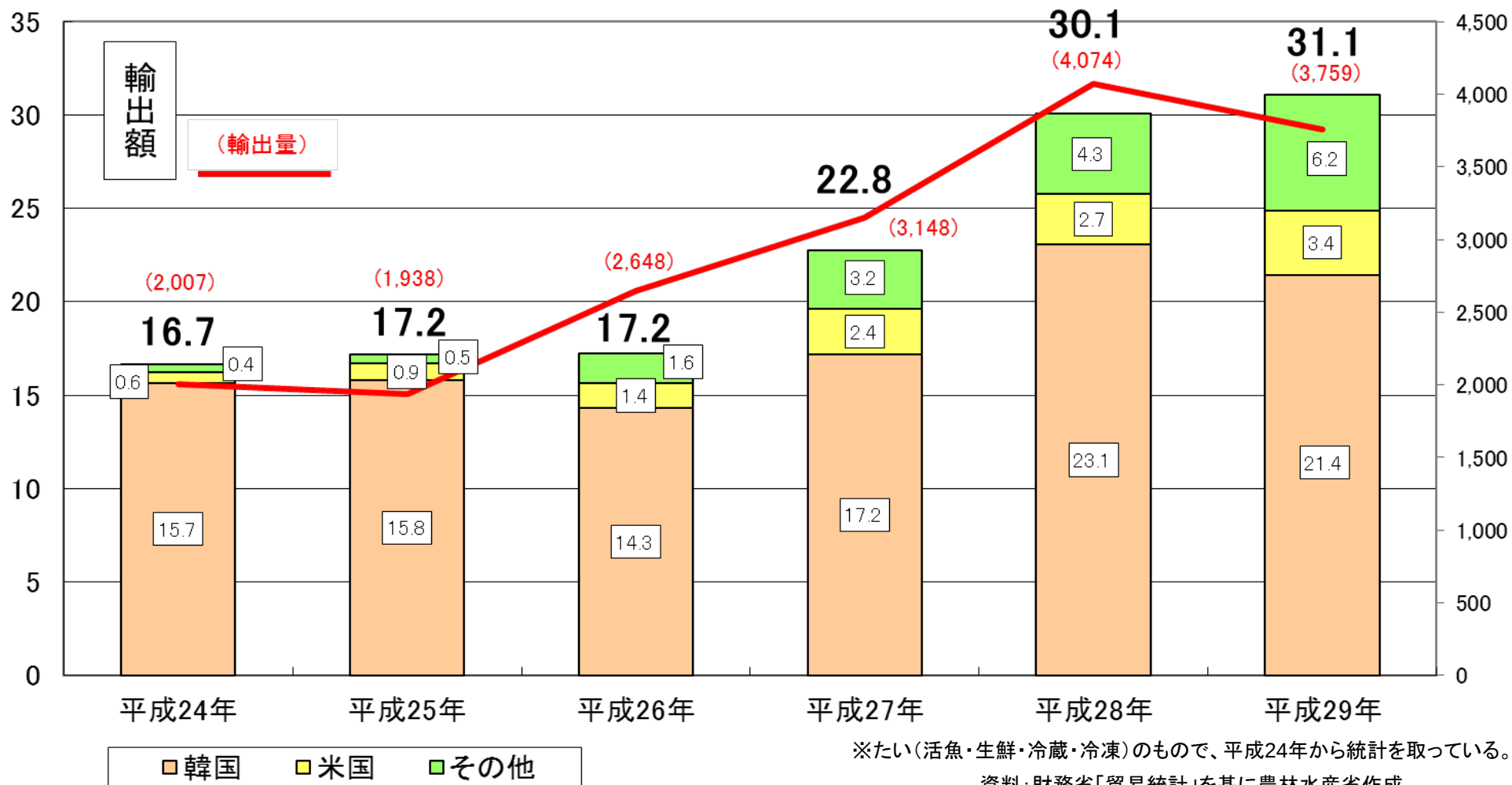
たいの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 平成27年以降、輸出額は増加傾向で推移。
- 平成29年の輸出額は、韓国向けが全体の約7割を占める。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



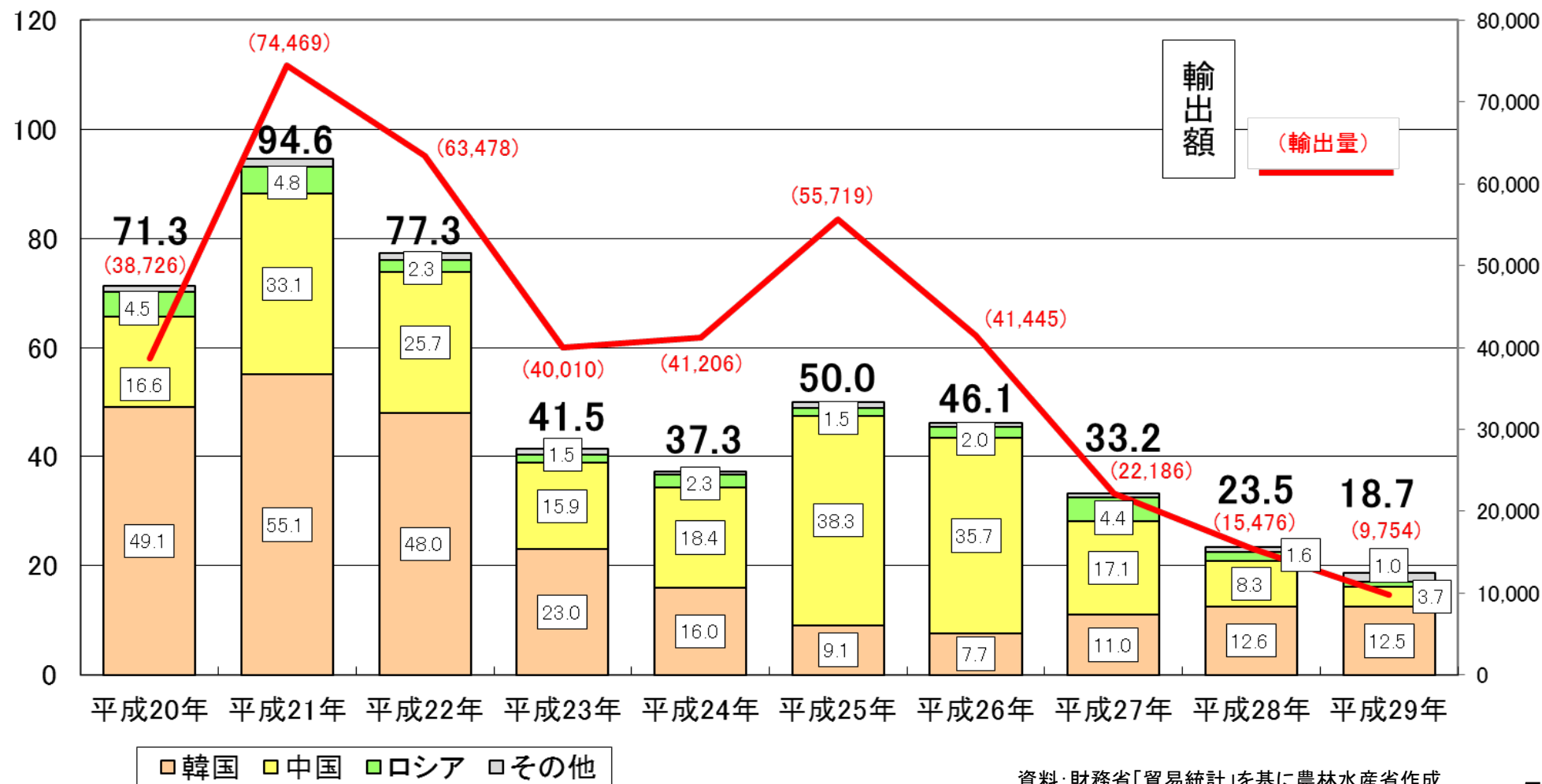
すけとうたらの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 平成22年以降、輸出額は減少傾向で推移。
- 平成29年の輸出額は、韓国、中国向けが全体の約9割を占める。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

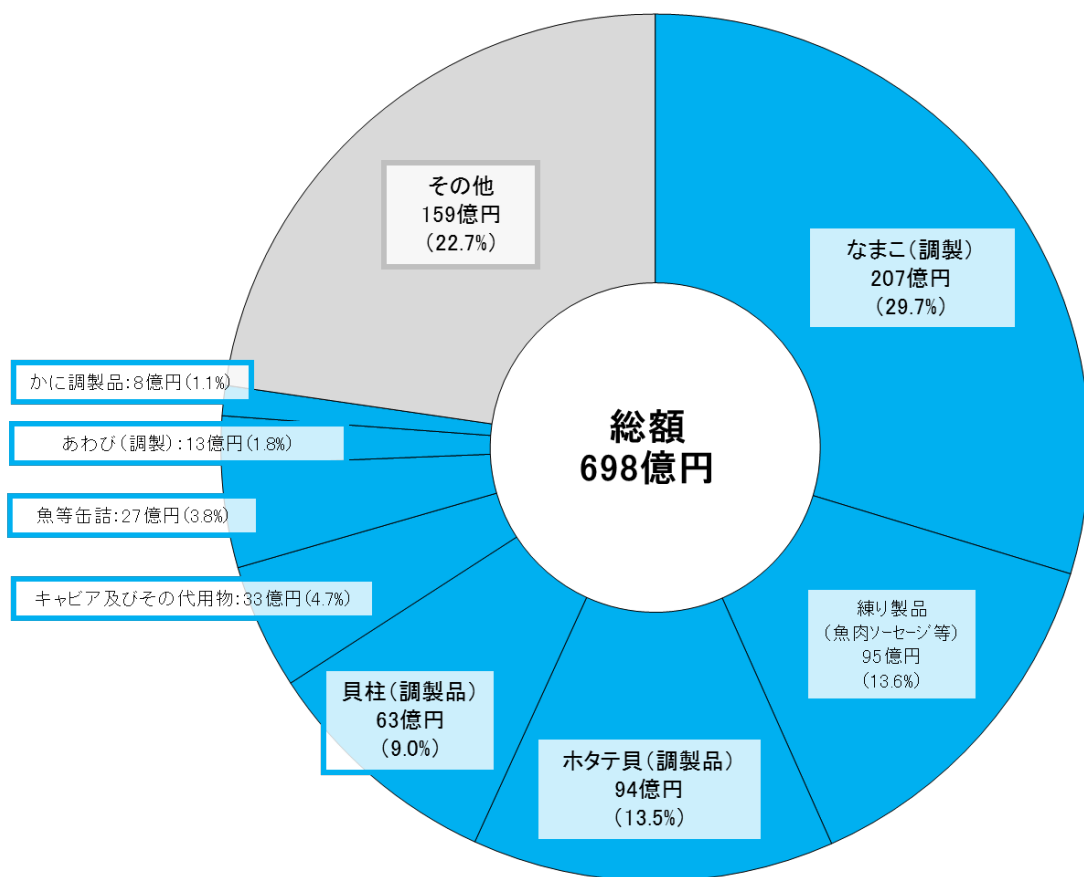
水産調製品の内訳

MAFF

- 水産調製品の品目別内訳をみると、なまこ(調製)、練り製品、ホタテ貝(調製)などの割合が多い。

(平成29年)

※カッコ内は輸出額
に占める割合



(単位: 億円)

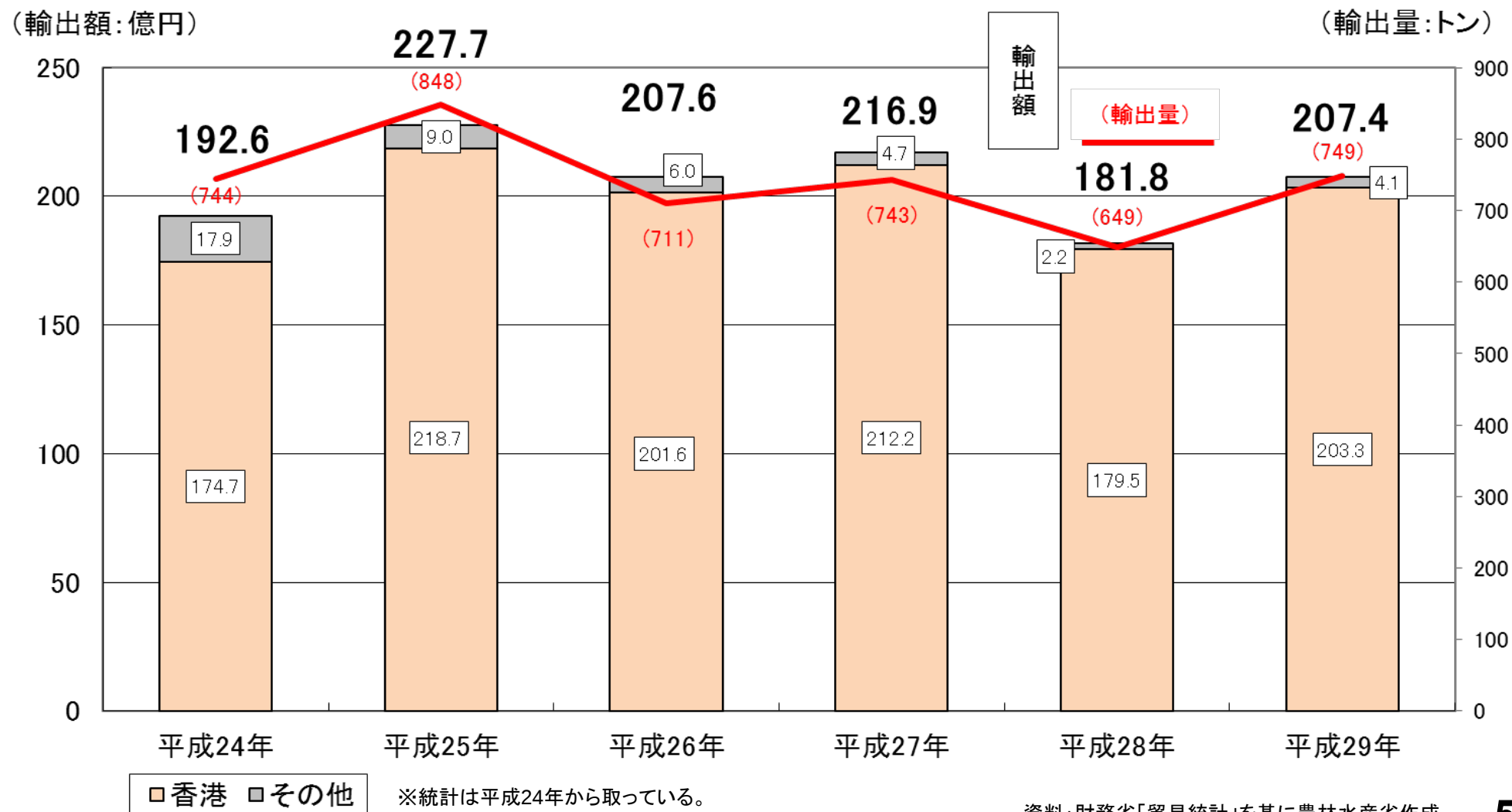
品目名	平成28年	平成29年	増減率
なまこ(調製)	181.8	207.4	14.1%
練り製品(魚肉ソーセージ等)	92.7	95.2	2.7%
ホタテ貝(調製品)	128.4	94.1	▲26.7%
貝柱(調製品)	59.8	63.1	5.6%
キャビア及びその代用物	27.9	32.6	16.8%
魚等缶詰	25.6	26.7	4.4%
あわび(調製)	15.7	12.7	▲19.4%
かに調製品	6.5	7.8	19.8%
その他	242.6	158.5	▲34.7%
水産調製品	686.1	698.2	1.8%

※貝柱(調製品)は、主にホタテ貝、いたや貝、い貝、巻貝以外の貝柱のもの

なまこ(調製)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 平成24年以降は輸出額が一定程度で推移。
- 平成29年の輸出額は、香港向けが全体のほぼ全てを占める。



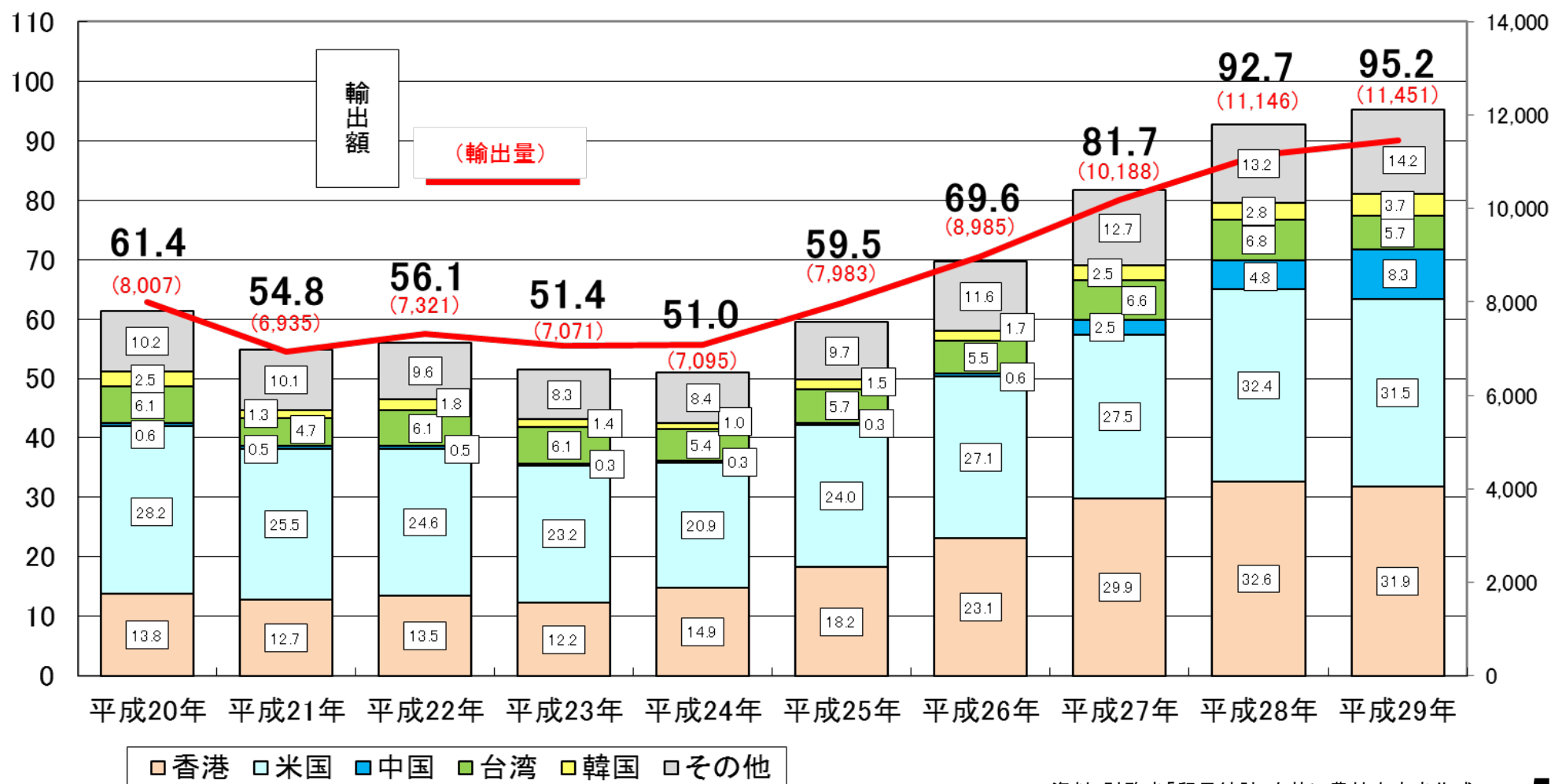
練り製品(魚肉ソーセージ等)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 平成25年以降、輸出額は増加傾向で推移。
- 平成29年の輸出額は、香港向けが全体の約3割、米国向けが全体の3割を占める。

(輸出額:億円)

(輸出量:トン)



資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

ホタテ貝(調製品)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 平成24年以降、輸出額は増加傾向で推移したが、ホタテ貝の水揚量の減少等の影響を受け、平成28年以降は減少傾向。
- 平成29年の輸出額は、香港向けが全体の約7割を占める。

(輸出額:億円)

(輸出量:トン)

